

事項二 米国加州議会議休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

八五 六月二十七日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州労働派ノ総選挙対策ニ鑑ミ来年ノ州会ニ

於テ排日の法案提出心至ノ件

第一九四号

加州 State Federation of Labor 及 Building Trade Council ハ議議ノ結果本年秋ノ選挙ニ於ケル国会議員候補者ニ対シテハ十箇条州會議員候補者ニ対シテハ十二箇条ノ立法問題ヲ掲ケ之ニ対シ予メ一賛否ノ回答ヲ求ムル書狀ヲ印刷シ来月半頃各候補者宛発送ノ手筈ナル処右問題中州會議員ノ分ニハ Do you favor amending alien land law by eliminating leasing clause? 国会議員ノ分ニハ Do you favor extension of Chinese Exclusion Act so as to bar all Asiatics? ナル質問アリ從テ来年ノ州会ニ右問題ノ提議セラルヘキコト今日ヨリ之ヲ予想スルニ難カラス

キ儀ニ付当地牛島謹爾ノ如キハ自身手広ク農業ヲ経営シ居ル關係等モアリ大ニ之ヲ憂ヒ此程来本官ニ対シ左記ノ申出ヲ継続致居候

牛島ノ言フ所ハ即チ現在ノ形勢ニ予期セザル大變化アルノ外ハ現知事「ジョンソン」氏ガ明年再選セラルベキハ疑ヲ容レズ從テ州会ノ立法ニ「インフルエンス」ヲ及ボスニハ同氏ニ倚ルヲ最モ得策トス現ニ昨年土地法中ニ借地ヲ認ムル規定ヲ残セルモノニ牛島ガ知事ノ近親ヲ通ジ熱心運動シタル結果ニ外ナラズサレバ明年ノ州会ニ現土地法以上ニ借地ヲ制限シ又ハ禁止スル法律ノ成立セザランコトヲ期スル為ニハ現知事ニ対シ運動スルニ若カズ幸ニ牛島ハ知事ノ親友「フランケンハイマー」(Frankenheimer, Stockton) 同親戚「ワインストック」(Weinstock, Sacramento City) 等ノ人物ト親密ナル交際アリ客年州会ノ際前記借地ニ関スル規定ヲ土地法中ニ規定セシムルコトニ就キテモ尽力セシメタルモ同人等ナレバ今回モ之等ヲ通シ日本人ヨリトシテ現知事ノ運動費中ニ若干ノ寄附ヲナサバ知事ノ好意ヲ繼ギ得以テ無事ニ州会ヲ經過シ得ベシ而シテ右金額ハ牛島ノ私見ニ依レバ一万弗ヲ以テ相当ト認ムルガ之ヲ広ク在留日本

御参考迄

八六 七月十日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

明年提出予想ノ加州排日法案防止ニ関シ牛島

氏ヨリ申出アリタルニ付請訓ノ件

機密第五七号

(七月二十九日接受)

大正三年七月十日

在桑港

總領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

千九百十五年ニ於ケル当州次期州会ニ於テ日本人ノ借地禁止又ハ制限ヲ目的トスル法案提出セラルベキハ過般往電第一九四号ヲ以テ報告致候労働派ノ運動其他各般ノ形勢ヨリ觀ルニ殆ンド疑ヲ容レス候而シテ借地ノ制限ガ在留日本人ノ利害ニ関スル所極メテ重大ナルモノアルベキハ申迄モナ

人間ニ募集スルガ如キコトアラバ当方ノ計画ハ忽チ外間ニ漏洩シ知事等モ大イニ迷惑ヲ蒙リ目的ヲ遂ゲ難カルベキニ付右資金ハ政府ヨリ御支出相成候様致度シ云々ト言フニ有之候

惟フニ借地ニ関スル法案其他ノ排日案次期州会ニ現ハルコト疑ヲ容レズトスレバ今後採ルベキ方案ハ唯之ガ通過ヲ妨グルノ外ナカルベク而シテ現知事ガ再選スベキハ牛島ノ説クガ如ク一般ニモ信ゼラレ居ルコトニ付今ヨリ施スベキ手段トシテハ同知事ニ対シ前記ノ如キ援助ヲ与フルヲ以テ得策ナリト存候乍去斯ノ如キ手段ハ畢竟消極的ニ過ギズ假令首尾克ク成功ノ曉ニ於テモ僅カニ一期ノ州会ニ於ケル排日法案ノ成立ヲ妨グルヲ以テ最上トシ其効果モ僅ニ次期ノ州会マデ持續スルニ過ギザレバ加州日本人問題根本的ノ解決上何程ノ効果アリヤ疑ナキ能ハズ將又当州政治家操縦上前記ノ如キ方法ヲ用フルハ極メテ不利ナル先例ヲ貽ス所以トモ存ゼラルルノミナラズ選挙運動費寄附ノ如キハ場合ニ依リテハ關係者一般ノ名譽ヲ毀損スル重大ナル結果ヲ齎ラスヤモ計リ難ク輕々ニ施シ難キ次第トモ被存候然レドモ更ラニ翻テ之ヲ考フルニ加州日本人問題ガ依然未解決ナル現

在ニ於テ当州在留日本人ガ更ニ其借地權ニ制限ヲ加ヘラルルガ如キコトアラバ州会ハ恰カモ当地博覽會開會ニモ当ルコトナレバ本邦民心ニ對シ激烈ナル刺激ヲ与ヘ國論ノ奔騰スル所極メテ重大ナル國際關係ヲ惹起スルニ至ルベキモ亦逆睹スルニ難カラズ故ニ前記ノ如キ借地權制限ヲ目的トスル法案及其他ノ排日案防止策ガ僅ニ一時的効果ヲ奏スルニ過ギザル可シトスルモ猶全然之レヲ試ムルノ価値ナシト速断ス可ラザル次第ニ有之候

御承知ノ通り当州在留民トシテハ借地ニ關スル權利狀態ハ其最モ重視スル所ニ有之牛島ノ意見モ畢竟一般ノ意向ヲ代表シ居ルモノト見テ差支無之其熱心亦默止シ難候ニ就テハ此種提案ニ對スル帝國政府ノ御意向御内示相成様致度此段及請訓候 敬具

八七 七月十八日

在ポートランド井田領事ヨリ
加藤外務大臣宛

太平洋沿岸日本人協議會設立及其決議ニ關シ

報告ノ件

公第四九号

(八月八日接受)

大正三年七月十八日

機ニ於テ試訴ヲ提起シ法理ノ公正ナル断案ヲ永メ同胞權利ノ獲得ヲ期ス

三、徴兵猶予証明料問題 徴兵猶予証明料ハ一弗ニ引上ゲ全額ノ交付ヲ受ケ同胞ノ協同経費ノ財源ニ充ツルコトヲ当局者ヘ交渉スルコト

四、加奈陀帰化日本人参政權問題 英領コロンビヤ州ニ於テ帰化ノ日本人ニ對スル参政權行使禁止ハ不法ノ甚シキモノト認メ本協議會ハ加奈陀日本人会ニ委嘱シ該禁止解決ノ実行ヲ期ス

尚ホ之レガ実行方法ニ關シテハ何等具体的ノ成案ヲナス運ビニ至ラズ又第二ノ帰化權問題ハ当初在「シヤトル」北米連絡日本人会ノ提案ニ係リ桑港在米日本人会代表者ハ暫時本邦政府ノ日米交渉ノ經過ヲ待ツベシトテ之ニ反對セルガ結局「適當ノ時機ニ於テ」ノ文字ヲ添入シテ折合ヲ附ケタル趣ニシテ其實行委員ヲ在米及北米連絡日本人会ニ委嘱シ第三ノ証明手数料問題ニ關シ当局者ニ交渉ノ件ハ在米日本人会ニ委託スルコトトシ又毎年一回順番ニ各地ニ会合ヲ催スコトトシ明年ハ桑港ニ於テ開催スベキコト等ヲ打合セテ散会シタリ

在ポートランド

領事 井田守三(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

在桑港在米日本人会、在晚香披加奈陀日本人会、在シヤトル北米連絡日本人会(シヤトル、タコマ、スポーケン各地日本人会ヨリ成ル)及在ポートランド中央日本人会代表者ハ在米同胞ニ關スル共通問題ヲ研究シ且ツ其解決策ニ付一致ノ行動ヲ取ル主意ニ依リ太平洋沿岸日本人協議會ヲ創立スル目的ヲ以テ本月十五、十六ノ兩日ニ亙リ当市ニ会合ヲ催シ右協議會ノ設立ヲ議決シ同時ニ参列各日本人会ヨリノ提案ニ係ル二三問題ニ付左ノ如キ決議ヲ為シタリ

一、二重国籍問題 合衆國及英領加奈陀出生日本人兒童ノ国籍撰択ニ關シ日米加国籍法ニ矛盾アリ為メニ二重国籍問題ヲ惹起シ将来ニ於テ懸念ニ堪ヘザルモノアリ本協議會ハ該懸案解決ニ對シ最善ノ方法トシテ日本国籍法ノ改訂ヲ期ス

二、帰化權問題 帰化權問題ノ解決ハ在留同胞發展上最大最重ノ要件ニシテ一日モ等閑ニ附スベキモノニアラズ本協議會ハ該問題ノ解決ヲ以テ同胞刻下ノ急務ト認メ適當ノ時

右御參考迄及御報告候 敬具

写送付先 在華盛頓珍田大使在桑港沼野總領代理在「シヤトル」高橋領事

八八 八月十日

加藤外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛

一九一五年加州州会ニ於ケル排日的立法防止

運動ニ關スル牛島氏申出ニ付回訓ノ件

通機密送第四一号

次期加州々会ニケル排日的立法防止ノ一手段トシテ現州知事再選舉運動費中ニ若干ノ寄附ヲ為ス義ニ關シ客月十日付機密公第五七号ヲ以テ縷々御稟申ノ趣閱悉右手段ハ貴見ノ如ク畢竟一時的効果ヲ挙グルニ過ギサルモノトハ被認候得共実行ニ慎重ノ注意ヲ払フニ於テハ相当ノ効能ナキニアラサルベク被相考候ニ付牛島謹爾氏ヘ其他重ナル少数ノ利害關係者ニ於テ所要金額尅万弗ノ半額ヲ支出スルノ決意相立候ハバ政府ニ於テモ一般経費節減ノ際支出方困難ニハ候得共特ニ其殘額ノ補給方詮議可致候ニ付右ノ含ヲ以テ貴官ヨリ同人等ヘ内談ヲ試ミラレ其結果ヲ具シ重ネテ御稟請相成候様致度此段回答申進候也

八九 八月十日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛

次期加州州会排日の立法防止運動ニ関スル件

附記 九月二日附在米国三浦大使館参事官ヨリ坂田通
商局長宛私信

通機密送第六一号

本件ニ関シ別紙ヲ通在桑港沼野総領事代理ト往復致候ニ
付御参考迄ニ右玆ニ及御送付候条自然何等御意見モ有之候
ハバ御申越相成度此段申進候也

註 別紙ハ前掲ニ付省略ス

(附記)

九月二日附在米国三浦参事官ヨリ坂田通商局長宛

私信

拜啓益々御清祥奉欣賀候陳者本省大臣兎珍田大使宛八月十
日付通機密送第六十一号昨日到着再三反覆閲読仕候御来諭
ニ依レバ前記機密信記載ノ件ニ関シ大使ニ於テ自然何等御
意見モアラバ申出ツベキ様御指令ニ有之候処大使ニ於テハ
本省ニテ既ニ御決定ノ今日別ニ意見提出被致間敷様子ニ御
座候大使ヨリ公然申出テザルニ小生ニ於テ彼是差出口ヲ叩
キ候テハ官紀紊乱ノ咎難遁存候得共御参考迄ニ私見トシテ

ノ威力ハ依然存在シ居リテ無法ヲ抑制スル効果アルモノト
思料ス。矢張り従来ノ主張ヲ維持シ側面ヨリ一種ノ高尚ナ
ル教育事業トモ申スベキ啓発運動ヲ盛ニ実行致候方最モ其
道ニ適ヒタルモノト思考致候

第三、最近ノ新聞ヲ見ルニ八月二十五日加州ニテ施行セル
予選会ニ於テ J. B. Curtin、民主党知事候補者、John D.
Fredericks、共和党知事候補者、又例ノ Johnson、進歩
党知事候補者ニ推挙サレタル趣ナルモ共和党機関新聞ノ報
ズル処ニ依レバ八月二十四日迄ニ登録済トナリタル各派ノ
選挙人員ハ左ノ如クナリシト言フ

共和党 四十七万二千六百七十七人
民主党 二十三万六千九百八十二人
進歩党 二十一万四千二十二
無所属 八万四千四百五十四人

右ハ共和党機関紙ノ計算ニ係リ数字ノ正確ハ保証致兼候上
ニ加州政党ノ状勢等ハ其地在勤領事ノ觀察最モ正鵠ヲ得タ
ルモノニ相違無之トハ存候得共本年ノ加州知事及議員選挙
ハ恐クハ共和党及民主党存外優勢ヲ示スカ左ナクトモ各派
ノ間激烈ナル互角ノ競争ヲ現出スルモノト想像セラレ候ニ

御含迄ニ申述度キ儀ニ候

第一、帝國政府ニ於テ交親國ノ一州ノ選挙ヲ動かス為メニ
假令間接且隱密ニモセヨ贈賄ニ御加担相成候ハ事ノ性質如
何歟ト相迷候次第ニ御座候小生ハ牛島某ニハ一面識モ無之
如何ナル人物ナルカ承知不致候得共此一月頃ナリシカ同人
ハ馬鈴薯数箱ヲ大使官邸ニ送り越シ大統領國務長官其他ノ
高官ニ分配方大使ニ依頼シ来リ大使モ少々迷惑ヲ感ゼラレ
タルモ兎ニ角夫々へ屈ケラレタル事ヲ記憶致居候当人限リ
ニテ馬鈴薯ナリ黄白ナリヲ知已朋友ニ寄贈又ハ贈賄スルハ
当人ノ勝手タルベキモ斯ル陋劣手段ヲ沼野領事ニ申出デ帝
國政府ノ援助ヲ要請シ来リタル一事実ヨリ推スモ彼ハ米國
側ニ於テ加州ヨリ放逐スベキ価値アリト認メラルルモ弁解
ノ途ナキ程下劣ナル品性ノ人物ト被存候ノミナラズ昨年来
正義人道ヲ楯トシテ大抗議ヲ試ミタル帝國政府ノ公明ナル
態度モ一度斯ル如何ワシキ手段ヲ散テスルニ於テハ一朝ニ
シテ冠履転倒又拭フベカラザル汚点ヲ貽スノ虞有之間敷哉
寒心ノ至リニ不堪存候

第二、卑見ニテハ加州問題ハ何処迄押シ下ゲラルルトモ敢
テ驚クヲ要セズト予メ腹ヲ据エテ(小生ハ昨年来ノ我抗議

付此前「ジョンソン」ガ当选シタレバト疑心暗鬼ニ驅ラ
レテ今度モ亦必ズ彼ガ当选スベシト速了スルハ如何ナルベ
キヤ又「ジョンソン」再選疑ナキモノト看做スモ贈賄ノ利
目ニテ必ズ借地権問題ヲ喰ヒ止メ得ベキヤ否ヤハ依然疑問
ニ属スベキニ付何レニシテモ贈賄ノ如キ手段ハ原則トシテ
如何ナル場合タルヲ問ハズ又特ニ永続的性質ヲ有スル加州
問題ノ解決ノ如キ場合ニ於テハ之ヲ用ヒザル方穩当且ツ終
局ノ良果ヲ収メ得ベキ所以ナラント思考致候若シ然ラズシ
テ米國トノ交渉ニ根氣負ヲ致シ横道ノ暗黒面ニ外レ候如キ
ハ遺憾不過之存候

第四、若又本件ハ既ニ御決定ノ上關係領事ヘモ御通知済ノ
事ニテ最早動カシ難キ次第ニ御座候ハバ政府ハ沼野氏申出
ノ金額ヲ泥溝ノ中ニ捨テタル御積リニテ全部御支出相成候
テハ如何ニ可有之哉在留民各個ヨリ賄賂ノ半額ヲ徵集スル
トキハ正直ナル在留民又ハ性急ナル居留民ハ賄賂ノ割前サ
へ出セバ自分等ノ希望通り行ハルモノト考ヘ込ムニ相違
無之然ルニ当选予想外ルルカ又ハ「ジョンソン」当选スル
モ議員等ハ借地権褫奪ヲ不相變主唱スルトカ其他何等カノ
事情ニテ期待通り参ラザル場合ニハ割前分担者ハ彼は苦情

不平ヲ漏スニ至ルベク斯クシテ我ヨリ進歩派ニ贈賄ノ事実
反對側杯ニ聞エタランニハ到底取り返シノ付カザル汚辱ヲ
被ルニ至ラザルヤト掛念致候政府ヨリ全部御支出相成ルニ
於テハ其辺ノ掛念ハ幾分薄ラギ可申ト存候次第ニ候尤モ小
生ハ前申述候通り加州ノ選舉ノ形勢モ尚未ダ判明セザル際
帝國政府ニ於テ贈賄手段ニ援助ヲ与ヘラルコトハドウモ宜
シカラザルヤニ被考候米國ノ選舉ニ裏面ニ於テ種々醜聞有
之由ハ聞及居候得共民主黨ノ現行政部ハ偏ニ勞働及農業ノ
庇護ニ力ヲ注ギテ金權征伐ニ仮借スル所ナキノミナラズ大
統領國務長官始メ各省長官等ノ連中ヲ見ルモ其主義トスル
所ニ忠実ニシテ其操行ノ平民的而カモ清廉ナル一点ニ至リ
テハ小生ハ窃カニ敬服致居候次第ニ御座候 敬具

大正三年九月二日

在華府 三浦彌五郎

坂田局長殿

九〇 八月二十六日

加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛

次期加州州會ニ排日法案提出必至ニ関連シ桑港
博覽會參同取消ノ可否ニ付意見問合ノ件

件タル博覽會ノ參同ヲ如何ニスベキヤトイフニ歸スル次第
ナリ尤モ今回ノ大戰爭ハ出品物ノ輸送其他ノ關係上事実ニ
於テ到底博覽會ノ開會ヲ許サズ結局延期ノ外ナキニ至ルベ
キ歟トモ想像セラルル処果シテ如何アルベキヤ貴官ニ於テ
其辺ヲモ考量ニ入レラレ慎重御考覈ノ上何分ノ御意見電報
セラレタシ尚右本大臣ノ訓令トシテ沼野領事ハ転電アレ

九一 八月二十八日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

桑港博覽會參同ノ取消ヲ不可トスル意見回申

ノ件

第二五七号

在米大使宛電第二一九号ニ関シ卑見左ニ開陳ス
甲、參同取消ヲ否トスル理由

一、帝國ノ博覽會參同實行ハ必スシモ当地ノ排日運動ヲ
防止スルニ足ラサルヘキ次第ハ夙ニ土地問題當時及客
年九月拙電第二五六号ヲ以テ具申ノ通りニテ本官ハ若
シ帝國政府ニシテ排日運動ヲ危惧セラルルニ於テハ博
覽會參同實行ノ却ツテ危険ナル所以ヲ縷説シタルカ実
ニ當時ニアリテハ當國人心寧々參同實行見合ヲ当然ト

第二一九号

沼野領事ノ報告市川書記生及山脇ノ述ブル所ニ拠レバ明年
ノ加州議會ニ日本人ノ借地權褫奪ノ法案提出セラルコト
ハ最早疑ノ余地ナキガ如シ本件ハ我博覽會參同ノ関連シテ
頗ル「デリケート」ナル問題ナルトコロ既ニ法案ノ提出必
然ノコトタル以上ハ之ガ通過モ亦必然ノコトト看テ我態度
ヲ定ムヘキハ勿論ナリト思考セラル若シ提案ヲ未然ニ防ガ
ント欲セバ多數黨ノ首領、知事又ハ重ナル排日派ノ議員二
三ト意志ノ疎通ヲ図ルコト唯一ノ途ナルヤニ思考セラルル
トコロ是トテモ固ヨリ容易ノ業ニアラス寧ロ今ニ於テ博覽
會ノ參同ヲ取消スベシトノ考案ヲ抱クモノナキニアラス勿
論今日ニ及ンデ斯ル態度ニ出ヅルハ面白カラザルニハ相違
ナキモ明年博覽會ノ開會中排日排日案ノ提出ニ遇ウテ出品
ヲ収メテ歸國スルノ混雜ニハ優ルベク日米ノ國交ニ影響ス
ルトコロ亦今日ノ処決明年ノ破裂ニ優ルベシ矧ンヤ今日ハ
戰爭開始トイフ異常ナル局面ノ變化アリ排日案關係ノ外ニ
贊同撤退ニ對シ相當ノ口実ヲ与フルニ於テヤヤ之ヲ要スル
ニ問題ノ排日案ノ提出ヲ未然ニ防グノ途果シテアリヤ否ヤ
若シ其途ナシトセバ右ノ解決ハ別個ノ問題トシテ当面ノ案

スヘキ情勢ナリシナリ然ルニ帝國政府ニ於テハ依然參
同ノ御方針ニテ本年三月米國側ヨリ排日防止ノ保障ヲ
取り附クヘキ旨ノ御來訓ニ對シ本官ハ拙電第八五号ヲ
以テ之レカ取附ノ困難及其排日運動防止上殆ント効力
ナキノミナラス之ニ依頼スルノ却ツテ危険ナルコトト
併セテ愈參同實行ノ場合ニハ寧々始メヨリ排日運動ヲ
覺悟シ且再ヒ前記客年ノ拙電ヲ援用シ出品人ハ勿論朝
野ノ政客ニモ右ノ趣意ヲ篤ト了解セシメラルル様特ニ
申進シタルカ次テ帝國政府ニ於テ參同御實行ノ御聲明
アリ機會アルコトニ本官モ亦帝國政府ノ贊同實行ヲ反
覆聲明シ最近ニ於テ瓜生總裁ヨリ在日本米國大使ニ對
シ戰爭ニ拘ハラス參同實行ノ旨特ニ言明セラレタル趣
博覽會々社ニ電報アリ工業館及(不明)館ノ面積ノ如
キモ戰爭開始後特ニ大ニ之ヲ増加スル等是迄ノ經過ハ
帝國政府參同實行ニ就キ一片ノ疑念ヲ挾ム余地ナカラ
シメタリ明年ハ排日案提出セラルヘキヲ予想セル当地
内外人トモ帝國政府ハ夙ニ州會ノ關係其他總テノ事情
ヲ御考量ノ上參同實行ヲ決セラレタル事ト確信シ居ル
次第ナリ去レハ排日案ノ提出カ殆ント既定事実ト見ル

二 米国加州議會休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

九一

一一二

ヘキ情勢ニ何等変化ナク且ツ日本国ハ出品準備輸送ニ格別ノ障害アリトモ覺エサルニ今更排日の提案(不明)ノ為メ我態度ヲ變更スルハ甚タ穩カナラスト思考ス
二、斯ノ如ク參同実行見合ノ時期ハ既ニ經過シタルニ若シ此際突然參同実行ヲ中止セラルル時ハ約束ヲ重ンセサル故ヲ以テ帝國政府ハ信ヲ中外ニ失シ戰後膠州灣ヲ山東都督ニ還附スヘシトノ今回ノ声明ノ如キモ一ツノ欺瞞ニ過ギストスル独逸派ノ謬言ニ對シ鞏固ナル実例ヲ与フルコトトナリ米國ノ輿論ハ靡然トシテ我ニ不利ナルニ至ルヘシ

乙、此際進ンテ參同実行ヲ可トスル理由

戰爭中歐洲ヨリ參加來遊ハ困難トナルモ同時ニ年々歐洲諸國遊覽ニ赴クヘキ兩米諸國人ヲ引附クル点ニ於テ却ツテ成功ノ見込アルハ博覽會當局及一般ノ一致スル所ニシテ米國政府ノ注意モアリ決シテ延期セサル旨社長ヨリ公式ニ声明シタル程ナリ況ンヤ元來名ハ世界博覽會ト言フモ實質ニ於テハ巴奈馬運河開通ト桑港恢復ヲ廣告スル内國の(意義)多キニ於テヲヤ實況斯クノ如シトセハ參同外國中重ナルモノハ兩米ト我國以外ニ之レナク博覽會ノ

丙、博覽會ト排日問題ノ關係

今日ノ場合ニ於テハ參同実行ト目前ノ排日問題トハ全然之ヲ分離シ考察セサルヘカラス明年ノ州會ニ於テ排日案ノ提出殆ント疑ナキモ通過ノ如何ハ自ラ別問題ニシテ万一通過シ出品ヲ收メテ歸國スルコトアルモ其条理公明正大ナルモノアルヘシ況ンヤ今回ノ博覽會ハ貿易發展ト啓発トヲ目的トシ当初ヨリノ御方針ニ從テ排日ヲ予期シ參同実行スル模度ヲ以テ朝野挙リテ之ニ當ラハ必スシモ出

第三一〇号

貴電第二一九号ニ関シ左ニ答申ス

(一)桑港博覽會參同ノ得失ニ関シ客年往電第二八七号ヲ以テ愚見開陳後發生セル新事実ニシテ本案件ノ攻究ニ重要ナル關係ヲ有スルモノハ

第一、協約締結ニ依テ排日案ヲ予防スルノ望断絶シタルコト

第二、加州労働党ハ議員候補者ニ對シ排日の誓言ヲ要求スル等予想以上ノ活動力ヲ証明シタルコト

第三、日獨兩國開戰ノ結果在米独逸実業家ハ太平洋沿岸ニ於テ極力我ニ復讐セントスル氣勢ヲ示シ居ルコト等ナリ

是等事態ニ鑑ミルトキハ次期加州議會ニ於テ我借地權ノ褫奪又ハ夫レ以上ノ排日案ヲ通過スルニ至ルヘキハ殆ント必至ノ情勢ナリト覺悟スルノ外ナシ我參同最中ニ右様ノ横暴続々勃発スルニ於テハ戰亂ノ結果自然昂奮ヲ免レサルニ付人心ニ非常ニ刺激ヲ与ヘ兩國國交上如何ナル危險ノ事態ヲ激成スルニ至ルヤモ計リ難キ義ナルニ付我ニ於テ已ムヲ得ス參同ヲ断念スルコト大局上最モ穩健且安

品ヲ收メテ歸國スルノ必要ナルヘク吾人ハ徒ラニ激昂セス煽動政客ニ乗セラレ問題ヲ大ナラシムルヲ避ケ彼等ニ政治的資本ヲ与ヘサル様冷靜ノ態度ヲ持スヘシ当地在留日本人モ客年ノ經驗ニ徴シ本國ノ輿論ニ無用ナル刺激ヲ与フルコトヲ避ケタキ希望ニ付何等カノ方法ヲ以テ本邦政黨新聞等ニ對シ予メ趣旨ヲ明カニシ置クモ一策カト存ス排日ニ関スル当州政界ノ形勢ハ容易ニ逆睹シ難キモ八月二十五日ノ知事以下予選ノ成績ニ徴スルニ必スシモ悲觀ヲ要セサルカ如シ
之ヲ要スルニ愚見ニ依レハ參同実行見合セハ既ニ時期ヲ失シ強テ之ヲ決行スレハ信ヲ中外ニ失スル虞アリ又參同実行ヲ以テ排日の提案ヲ防止シ得ストスルモ當方ノ覺悟次第ニ依リテハ必スシモ悲觀ヲ要セス殊ニ戰亂ノ為メ參同重要外國トシテハ殆ント我一人舞台タルノ觀アリ勞勤クシテ意外ノ好結果ヲ贏チ得ヘキ見込ナキニアラサルニ付是非共參同実行相成ル様希望ニ堪ヘス

九二 九月二日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

桑港博覽會參同取消ヲ可トスル意見答申ノ件

二 米國加州議會休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

九二

一一三

全ノ措置ナリト信ス排日行動ニ対シ別ニ對抗スル手段ヲ講スヘキハ勿論ナリ

(二)本案件從來ノ行懸ヲ株守シ之ヲ以テ排日案ニ關係ナキ獨立問題トシテ攻究セシニ桑港博覽會ハ歐洲戦乱ノ結果已ニ其實質ニ重大ナル變更ヲ受ケツツアル今日最早当初所期ノ実益ヲ与フルコト能ハサルハ蔽フヘカラサル事實ナリ國務長官ノ所説ニ依レハ桑港博覽會關係者ハ歐洲不参同ニ拘ラス飽迄開會ヲ決行シ南中米及東亞ヲ本位トシテ十分成功ヲ期待シ居ル趣ナルモ南中米諸國ハ歐洲戦乱ノ為メ經濟上大打撃ヲ蒙リ居レル事情ニ鑑ミ果シテ能ク右ノ期待ニ副ヒ得ヘキヤハ疑問タルヲ免レス現ニ智利國政府ノ如キハ兩三日前其議會ニ於テ前記理由ニ基キ参同取消ヲ宣言シタリ南中米ノ事情ニ精通セル「バーレット」氏ノ所信ヲ叩クモ亜爾然丁共和国ヲ除キ自余ノ諸國参同實行ハ多少疑ハシク又桑港博覽會關係者ハ運輸業者ト連絡シテ例年歐洲ヘ出立スル米國旅客ノ引付策ヲ講シツツアルモ未タ的確ノ見込立タル由ナリ

要スルニ博覽會ノ成功程度ニ關シテハ目下何人モ確的ノ意見ヲ立ツルコト能ハサルモ当初所期ノ実益ヲ与フルコト

第二六四号

Gulick 教授ニ關係アル Federal Council of Churches of

Christ in America ノ囑託ヲ受ケ日本人ノ情況調査ノ為メ太平洋沿岸旅行中ナル(不明)教授ノ(曾テ一九〇七年合衆國移民委員會ノ囑託ヲ受ケ日本人情況ヲ調査シタル人九月一日「ポートランド」ヘ向ケ当地發)本官ニ内話スル所ニ依レハ当州人中昨年ノ土地法ニ加フルニ此上日本人ヨリ借地權迄モ剝奪スルハ過酷ナルノミナラス米人側ニモ不利ナリトノ反動的意見ヲ抱クモノモ鮮カラス現ニ排日労働派力各候補者ニ送リタル書面(往電第一九四号参照)ノ回答ヲ内覽シタルニ候補者ノ總体三百五十ノ内回答セルモノ僅々五十余ニシテ其内借地權剝奪ニ反對ナルモノ意外ニ多ク(三割内外)素ヨリ回答ヲナササリシモノハ借地權以外ノ事項ニ付回答ヲ好マサリシ為ナルモノモアルヘケレトモ尠クトモ候補者力書面ニテ排日反對ノ意向ヲ表明スルカ如キハ著シキ反動的兆候ナリ兎ニ角左迄悲觀スルニ及ハス云々又同教授ハ前回視察以後日本人ノ情態改善シタル点ニ付好印象ヲ得タル模様ナリ

歐洲戦争以來当地人心ノ趨向ヲ見ルニ此戦争ヲ以テ全然無

ト能ハサルハ最早疑ノ余地ナキカ如シ果シテ然ラハ軍國多事ノ際之カ為メ國帑ヲ支出スルモ得失相償ハサルモノト愚考ス

(三)帝國ハ歐洲戦乱ノ結果經濟上以上ノ攪乱ヲ受ケタルノミナラス自ラ交戦國圈内ニ捲キ込マレ居ル事實並ニ桑港博覽會ハ其實質ニ變更ヲ来タシツツアルコトハ炳乎掩フヘカラサル事實ナレハ十分ニ我参同取消ノ理由ヲ説明スルニ余リアルヘシ

(四)仏國蘭國瑞西國諸國威國ノ諸國ハ實際参同不可能ナルヘキニ不拘未タ取消ヲ申出テサル事實ヨリ見ルモ我ニ於テ急遽参同取消ヲ宣言スルノ必要ナカルヘク他ニ差支ヲ生セサル限り今暫ク形勢ヲ觀望シ居ル方得策ナルヘキヤニ考ヘラル

(五)尚本件ニ付テハ当方ニ於テ応答ノ都合上心得置クコト必要ニ付政府ノ方針御決定次第可成速ニ御内示アラフコトヲ請フ

九三

九月五日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州ニ於ケル排日氣勢若干緩和ノ件

用ノモノナリトシ其慘害ヲ呪咀スルハ衆口一致スル所ニシテ独逸國皇帝又ハ「ルーズヴェルト」一流ノ Mailed Fist ハ全ク人氣ナク「ウキルソシ」カ墨西哥ニ關シ Watchful Waiting 政策ヲ貫徹シタルハ今ハ却テ一般ニ賞揚セラレ居レリ從ヒテ日本ニ對シテモ友國ノ關係ヲ支持スル必要ヲ稍具體的ニ自覺シ来レルカ独逸派ガ排日ノ氣勢ヲ煽動セント努メツツアルハ事實ナルモ現ニ一兩日来「サンフランシスコ、エキザミナー」ガ突然日本艦隊来航ノ記事ヲ掲ケ居ル所從來ナレハ直ニ日本ノ禍心云云ニ言及スヘキ事實ハ之ニ反シ一般ニ其来航ハ通商航海ノ安全ヲ確保スルモノナルヘシトテ意外ニモ氣受惡カラス惟フニ右ハ開戦以來米國力中立嚴守ノ為煽動的言動ヲ慎ミツツアルニモ依ルヘキガ日本ニ關スル限り過般來御施設ノ啓発運動殊ニ「ペブリシチー」事業ニヨリ当地操觚界トノ連絡成立シタルモ其一因ナルヘシ

素ヨリ右ヲ以テ直ニ明年州會ニ於ケル排日案ノ運命ヲトスルハ輕率ノ誹ヲ免レサルヘキモ御参考迄申進ス
右在米大使在紐育總領事ヘ電報ス

九四 九月二十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州民主党政綱ハ亜細亞人反対政策堅持ノ件

第二八〇号

今回当州各政党ノ政綱発表セラレタルカ民主党政綱中 We reaffirm Democratic policy of opposition to Asiatic labor in America and Favor federal action making exclusion permanent ノ文句アルノミ他ニ東洋人又ハ日本人ニ言及シタルモノナシ
大使ヘ電ス

九五 九月二十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州労働党ノ日本人排斥運動ニ関スル件

第二八一号

当州各政党ハ往電第二八〇号ノ通り日本人問題ニ関シ表面殆ト無頓着ナルカ如キモ数日来 Guy ヲシテ労働党首領 Scharrenberg ニ就キ内探セシメタル所ニ依レハ労働党ハ日本人排斥法ノ制定ヲ見ル迄ハ有ラユル手段ヲ以テ運動ノ必要アリ故ニ来年モ借地権剝奪ノ為メ運動ノ予定ナリト言

明シタル由ニ付州会ニ其議案ノ提出ハ免レサルヘキモ一般ニ排斥熱冷却ノ傾向アルニ際シ昨年ノ如キ無用ノ大騒キヲ演ジ徒ラニ政客ヲシテ名ヲ為サシメサル様十分ノ覚悟ヲ要ス右不取敢申進ス

九六 九月二十一日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州知事候補者予選ノ最終的結果報告ノ件

第二八二号

八月二十五日 primary election ノ投票計算注視シ居タルガ本月二十日計算完了シタリトテ非公式ニ発表サレタル所ニ依レバ得票数知事候補者トシテ進歩党 Johnson 十二万一千共和党 Fredericks 十万八千民主党 Curtin 二万七千合衆国 Senator 候補ハ共和党 Knowland 民主党 Phelan 進歩党 Heney ノ順序ナリ
大使電スミ

九七 十月二日 加藤外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛(電報)

加州排日立法防止運動資金ニ関シ問合ノ件

第八〇号

往信通機密第四一号ノ件牛島ヘ御内談ノ結果参考迄ニ回電アレ

九八 十月二日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日立法防止運動資金ニ関シ回答ノ件

第二九五号

機密第四十一号貴信ノ件ハ牛島ニ内話シタルモ同人ハ選挙ノ結果未タ十分ニ予想シ兼ねタルヲ以テ暫ク決定ヲ猶予シタシトノコトニテ引続キ形勢観測中
右在米大使ニ電報シタリ

九九 十月二日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ニ関シ国会及州會議員候補者ニ
対シ為サレタル「アンケート」ノ結果報告ノ
件

第二九四号

今回 Guy 氏ハ労働派実権者 Scharrenberg ヨリ拙電第一九四号ニ関スル各候補者ノ回答要領ヲ掲ケタル材料ヲ入手セリ材料ハ八月二十五日予備選挙ニ於テ落選シタルモノ

二 米国加州議休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動 九八 九九

ヲ除キ九月二十六日迄ニ調査シ得タルモノヲ掲ケ殆ト全部ノ候補者ヲ網羅セリ当方ニテ之ヲ統計シタル結果左ノ如シ
第一支那人排斥法ヲ總テノ亜細亞人ニ適用セシメントスル可否ニ対シ合衆国上院候補者中回答セサルモノ(總テノ問題ニ)一賛成回答三合衆国下院候補者中回答セサルモノ(總テノ問題ニ)一五回答セルモノノ内賛成二三反対一態度不鮮明二

第二昨年ノ土地法ヨリ借地権ヲ削ルノ可否ニ対シ州会上院候補者中回答セサルモノ(總テノ問題ニ)二四設問書ヲ送達スル能ハサリシモノ四回答セルモノノ内賛成二〇反対七態度不鮮明九州会下院候補者中回答セサルモノ(總テノ問題ニ)一二三設問書ヲ送達スル能ハサリシモノ一六回答セルモノノ内賛成一〇三反対一六態度不鮮明二三

第一ニ関シテハ支那人排斥法ヲ其儘一般東洋人ニ適用セントスルヤ又ハ日米現行取極ノ如キ方法ヲ執ラントスルヤハ問題ナルモ要スルニ加州人心ハ東洋移民制限ノ必要ヲ確守シテ動かサルモノト見ルヲ得ヘク

第二ニ関シテハ賛成一二三反対二三態度不鮮明三三全然回答ナキモノ一六七ニテ賛否ノ懸隔五対一一我ニ甚タ不利ナ

ル形勢ヲ示スモ他面反對ノ回答ヲナシ労働派ノ猛烈ナル運動ノ為メ落選シタルモノ尠カラサリシニ拘ハラス尙確定反對者二三ノ当選アリ又此外意見ヲ留保シタル当選者約二百ナルノ事実ニ顧ミ明年州会ニ於ケル借地権問題ノ運命ハ甚タ不利ナルト同時ニ今後モ運動ノ余地必スシモ皆無ニハアラサルヘシ党派別其他委細通信
在米大使ヘ転電セリ

一〇〇 十月五日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

加州ニ於ケル国会及州會議員候補者ニ対シ排日問題ニ付行ハレタル「アンケート」ノ結果
及觀測報告ノ件

附屬書一 米国國會議員候補者宛設問書

二 加州州會議員候補者宛設問書

機密公第七五号

(十一月二日接受)

大正三年十月五日

在桑港

總領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

乙、合衆国下院議員候補當選者中總テノ質問ニ対シ全然回答セザリシモノ十五名中七名ハ共和党ニシテ回答セザルモ其態度ノ曖昧ナルモノ共和黨進歩黨ニ各一名アリ賛成確答ヲナシタルモノハ合計二十三名ニシテ四十一名ノ總員ニ対シ約六割ノ過半ヲ占ムルニ対シ反對回答者ハ「ソシアリスト」中ニ僅ニ一名アルノミ(別紙附屬表丙ノ二参照)

由是觀之本問題ニ関シ上下兩院候補合計四十五名ヲ通シ反對者ハ僅ニ一名ニシテ大多数ノ意嚮ハ總テノ亜細亞人ヲ律スルニ支那人同様ノ入国禁止法ヲ以テセントスルモノナルヲ示ス、想フニ十月一日発拙電第二九四号ヲ以テ申進タル如ク入国取締ノ方法トシテ支那人入国禁止法ヲ其儘總テノ亜細亞人ニ適用セントスルヤ將又日米間現行 Understanding 如キ穩和ナル方法ヲ以テ満足スルモノナリヤハ未ダ俄ニ斷言シ難キモノアリト雖モ總テノ亜細亞人ノ入国ヲ嚴重ニ取締ルノ必要ニ関シテハ加州人士ノ決意牢乎トシテ動カザルモノアルヲ示スニ足ラン

第二、昨年ノ土地法中ヨリ借地権ニ関スル条項ヲ削除スルノ可否

二 米国加州議会議休会中ノ形勢及同議會ノ排日的立法ノ予防運動

囊ニ(1) California State Federation of Labor, (2) State Building Trades Council of California 及(3) Central Labor Councils of the Various Cities of California ノ諸労働団体ハ協同シテ Legislature Conference ナルモノヲ組織シ労働者ノ利益ニ關係アル別紙甲号及ヒ乙号記載ノ立法諸問題ニ対シ国会及ヒ州會議員候補者ノ意見ヲ徵スル書狀ヲ印刷シ各候補者ニ發送シタル次第並ニ「ガイ」氏カ労働派ノ実権ヲ掌握シ居ル黒幕領袖 Scharrenberg 氏ヨリ右回答ヲ要領ヲ掲ゲタル材料ヲ入手シ当館ニ於テ一表ニ之ヲ統計シタル結果ハ其都度電報ヲ以テ要領及報告置候処右ニ関シ更ニ詳細左ニ報告申進候

第一、支那人入国禁止法ヲ總テノ亜細亞人ニ適用スルノ可否

甲、本問題ハ別紙附屬書類甲号列記ノ諸立法問題中ノ第九項ニシテ合衆国上院議員候補當選者ノ回答中共和党ノ Knowland 氏カ諸立法問題全部ニ対シ回答ヲナサザリシヲ除キ他ノ三名ハ悉ク支那人排斥法ヲ總テノ亜細亞人ニ適用スルニ賛成ナリ(別紙附屬表丙ノ一参照)

甲、本問題ハ別紙附屬書類乙号列記ノ諸立法問題中ノ第九項ニシテ加州上院議員候補當選者中一切ノ立法問題ニ回答セザリシモノ二十四名及設問書ヲ送達シ得サリシモノ四名計二十八名則チ約四割強ハ全然其態度ヲ窺知シ得ザルモノニ屬シ更ニ其中ノ七割強ハ共和黨員及進歩黨員ナリ

回答セル者ノ内態度ノ不鮮明ナルモノ九名(一割四分)反對確答者七名(一割強)合計二割五分ハ先ツ我ニ同情アル者ト見ルヲ得ベク、本問題賛成者二十名(三割)ニ対シ五対六ノ比ヲ示ス又反對確答者ノミト賛成者トヲ較ブレバ一對三ノ懸隔アルヲ示ス反對確答者ヲ党派別ヨリ觀察スレバ共和党二、「ソシアリスト」一、禁酒黨一、民主黨一、ニシテ進歩黨中ニハ一名モナシ想フニ共和党ハ主トシテ資産階級ニ關係多キヲ以テ地主トシテ且ツ資本家トシテ本問題ニ自ラ直接ノ利害關係ヲ有シ毅然トシテ起テ之ニ反對スルモノ多数アルベキハ当然ナルニ係ラズ其ノ態度ノ曖昧ナル者若クハ全然回答ヲナサズ形勢ヲ觀傍スルモノ多数ナルハ寧ロ同黨ノ態度軟弱ニシテ

動モスレバ愚民ニ迎合スルヲ辞セザルモノノ多キヲ示スヲ遺憾トセザルヲ得ズ

「ソシアリスト」ハ元来土地ノ共有ヲ其政見トナスモノ多ク從テ其黨員中本問題ニ對シテ明確ニ反對ヲ表示セザル迄モ All land should be socially owned. 又ハ「社会党」ノ政綱ニ從ヒ投票スベシ」トノ語ヲ以テ之カ回答トナセルモノ尠カラザルヲ見ル（斯ル回答ヲナセルモノハ別表ニ於テ皆之ヲ態度不鮮明者中ニ彙類セリ）

禁酒黨員ハ元来清教徒の基督教信者中ニ其根基ヲ置クモノナリ隨テ總テノ問題ニ對シ人種の甄別ヲ設ケズ一律正義公平ノ見地ヨリ其政見ヲ樹ツルモノ比較的多ク本問題ニ付テモ八名中二名ハ全然回答セズ一名ハ態度不鮮明者二名ハ反對確答者タル亦此理由ニ依ルモノナルベシ

借地権削除賛成者二十名ヲ党属關係ヨリ觀察スルニ「ソシアリスト」八、進歩党四、民主党及禁酒党各三、共和党及党属不明者各一名ナリ則チ州会上院候補中「ソシアリスト」ノ過半及ヒ進歩党ノ三分ノ一

ガ為ナルベシト雖モ亦同時ニ若シ同党知事候補者 Fredericks 氏現知事「ジョンソン」氏ニ打勝チ首尾良ク知事ニ當選スルコトアラバ其大多數ハ我ニ有利ナル態度則チ本問題ニ反對ノ態度ヲ執ルニ至ルモノト推測スルヲ得ベシ

「ソシアリスト」中反對確答者五名アルハ較注目ニ値ス想フニ之レ同党政綱ヨリ当然来ルベキ結果ト見ルヲ得ベク態度不鮮明者六ヲ算スルモ亦前記（甲）ノ下ニ記セル如ク All land should be socially owned. ノ見地ヨリ来レルニ依ルモノナリ（同時ニ「ソシアリスト」中賛成者ノ極メテ多数ナルモ亦大ニ注目ニ値ス後段参照）禁酒党中反對確答者五名アル理由モ亦（甲）ノ下ニ記述セル所ノ如シ同党ニ属スル下院議員候補當選者三十四名中本案反對者、態度不鮮明者及其態度ヲ窺知シ得サルモノハ合計二十八（八割）ニシテ蓋シ其多数ハ我ニ同情アルモノト見ルヲ得ベシ民主党及進歩党中ニ各三名ノ反對確答者アルハ反動的徴候ノ一端トモ看做スヲ得ベキ乎

借地権削除賛成者最多数ヲ占ムルハ「ソシアリスト」

二 米国加州議会議会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

ハ賛成者ニシテ二十名中ノ六割ヲ占ム禁酒党及民主党モ其員數ハ僅少ナルモ同党上院候補ノ三分ノ一ハ賛成者ナルハ注目ニ値ス（別紙附屬丙ノ三参照）

乙、又州会下院議員候補當選者二百八十一名中總テノ疑問ニ對シ全然回答セザリシモノ百二十三（四割四分弱）設問書ヲ送達シ得ザリシモノ百六ニシテ別言スレバ約半数ハ未ダ全ク其態度ヲ窺知シ得ザルモノナリ右ノ内共和黨員ニシテ此部類ニ属スルモノ最多ク七十七ノ當選黨員中約六割ヲ占ム

回答セルモノノ内態度不鮮明ナルモノ二十三（八分弱）反對確答者十六（六分弱）ハ先ツ我ニ同情アルモノト見ルヲ得ヘク借地権削除賛成者百三名ニ對シ一對三ノ比ヲ示シ反對確答者ノミト賛成者トヲ比較スルニ其懸隔殆んど一對六ニモ達セズ

反對確答者ヲ党属上ヨリ觀察スルニ「ソシアリスト」五、禁酒党五、民主党三、進歩党三、ニシテ共和党中ニハ一名モナシ想フニ共和党ハ前記（甲）項中記載ト同一ノ理由ニヨリ黨員ノ大多數ハ實際ノ必要ニ迫ラルル迄其態度ヲ明確ニスルヲ欲セザルモノ多キ

ナルノ事實ハ研究ニ値ス想フニ同党政綱トシテハ土地ノ共有ヲ主張スルモノナリ同黨員ニシテ此見地ヨリ公平ニ論斷スレバ本案反對者側ニ立ツテ至当トスベキモ同黨員ハ同時ニ日本及日本人ニ反對ノ態度ヲ採ルベキ幾多ノ理由ヲ有スト推察セラルルヲ以テ此点ヨリ見レバ同黨員過半数カ我ニ不利ナル態度ニ出ツルハ寧ロ当然ト謂ハザルヲ得ズ

禁酒党中賛成者僅々六名ニ過キザルハ同党ノ多数ガ敬虔ナル基督教徒ナルニ職由スルハ前記（甲）ノ条下ニ説述セル所ノ如シ

民主党員中二十名（五十四ニ對シ四割弱）ノ賛成者アルハ寧ロ当然ナルモ共和黨員中二十七名（七十七ニ對シ三割五分）ノ賛成者アルハ聊カ不安ノ感ナキ能ハズ之ニ反シ進歩党中賛成者僅カニ、十三名（四十九ノ約四分ノ一）ヲ出テサルハ同党カ昨年ノ土地法ヲ以テ日本人問題ヲ解決シシタリトナシ是レ以上排日法ノ必要ヲ認メサルモノト解スルモ亦一面ノ觀察ナリ（別紙附屬丙ノ四参照）

丙、更ニ今回加州上下両院議員候補當選者ヲ通算シテ借

地権問題ニ関スル党派別賛否ヲ一表ニ示セバ左ノ如シ

Party Affiliations	Yes	No	Ambiguous Not Pledged Doubtful	No Reply	Not Questioned	Total
Republican	23	2	7	56	3	96
Progressive	17	3	6	30	5	61
Democrat	23	4	2	28	5	62
Prohibition	9	7	8	7	1	42
Socialist	45	7	9	14	6	81
Unknown	1			2		3
Total	123	23	32	147	20	345

右表中回答ナキ者及送達漏ノ者合計百六十七名(三百四十五ノ約四割八分)ハ未ダ其態度ヲ窺知シ難キモノニ属シ他日形勢ヲ見テ嚮背ヲ決スルナルベク而シテ其内約三分ノ一ハ共和党ニ属スルヲ以テFredricksノ当選スルト否トハ彼等ノ向背ヲ決スル上ニ於テ著シキ影響アルベシ態度不鮮明者三十二名モ亦知事選挙ノ月桂冠現知事ニ帰スベキヤ將又「フレデリックス」ノ手裡ニ入ルヤニ依リテ其向背ヲ決セントスルモノ多カルベシ当選者中反対確答者「ソシアリスト」及禁酒党ニ各七名アルハ前頭ノ理由ニ基クモノニシテ合計二十三名ナリ之ヲ賛成者百二十三名ニ比スルニ殆ンド一對五ノ懸隔ヲ示スハ聊カ不安ノ感ナキニ非ス然レドモ想フニ八月二十五日ノ候補選挙前本件ニ関シ反対ノ回答ヲナシタル為メ労働派ノ猛烈ナル妨害運動ニ遇ヒ落選シタルモノ尠カラザリシニ係ラズ尚反対確答者二十三ノ当選ヲ見タルハ寧ロ予期以上ニ属ス

要之、加州上下両院議員候補当選者総数三百数十名ノ多キニ上レルモ右ハ追テ十一月三日ノ本選挙ニ於テ上院議員二

十名(定員全数ノ半)ノ下院議員八十名合計百名則チ約三分ノ一トナルモノナレバ、今ヨリ其結果ヲ予想スルハ少シク早計ニ失スト雖モ大体ニ於テ明年州会ニ於ケル借地権問題ノ形勢ハ甚我ニ不利ナルト同時ニ必ズシモ絶望スルヲ要セザルベシト思考セラル

右報告申進候 敬具

附屬書類

一、甲号

米国々々會議員候補者ニ宛テタル設問書

一、

一、乙号

加州々々會議員候補者ニ宛テタル設問書

一、

一、丙号

上記設問ニ対スル各候補者ノ党派別賛否統計表(四

表ヨリ成ル) 一、

注 別紙丙号ヲ省略ス

(附屬書一)

甲号(概要)

米国国會議員候補者宛設問書

California Sates Federation of LABOR

STATE BRANCH OF AMERICAN FEDERATION

二 米国加州議會休会中ノ形勢及同議會ノ排日的立法ノ予防運動 一〇〇

OF LABOR UNDERWOOD BUILDING,
525 MARKET ST., SAN FRANCISCO

San Francisco, Cal., July 20, 1914.

The Legislative Conference, representing the California State Federation of Labor, the State Building Trades Council of California, and the affiliated Central Councils and Local Unions throughout California, herewith submits ten questions.

Will you kindly respond at your earliest convenience in order to enable us to acquaint the voters generally with the replies of candidates, prior to the Primary?

For your convenience this letter is sent in duplicate. Please sign and return this copy to the undersigned and keep the other for reference.

Very truly yours,

Chairman, Legislative Conference
525 Market St., San Francisco.

1. Will you support and vote for a bill which will exempt the voluntary associations of working people and agriculturists from the Sherman Anti-Trust Law?
2. Will you support and vote for a bill regulating and

- limiting the issuance of injunctions differentiating between the normal and constitutional activities of men on the one hand, and property and property rights on the other, and which will carry with it a clearer and a more intelligent definition of the meaning of the term "conspiracy"?
3. Will you urge and vote for a bill providing for a more comprehensive Employers' Liability Law, or for a bill that will insure automatic compensation to employees injured by accident during employment in all interstate commerce?
4. Will you urge and favor a bill which will protect the people of one state from the ruinous competition of contract convict labor in another state?
5. Will you support and vote for a bill that will insure greater safety at sea for passenger and crew of the Merchant Marine; better working conditions for seamen, and the abolition of the present barbarous penal provisions confronting seamen?
6. Do you favor an amendment to the Constitution of the United State to regulate and limit the practice of courts to declare laws unconstitutional?

5. Are you in favor of granting a jury trial in cases of contempt of court in labor disputes?
6. Do you favor a more liberal appropriation for university extension work, with a view of bringing the state university nearer to the needs of the working people?
7. Under the present compensation act injured employees must wait two weeks before being allowed any compensation. Do you favor reducing such waiting period from two weeks to one week.
8. Do you favor stringent state regulation of private detectives and private armed guards?
9. Do you favor amending the alien land law by eliminating the leasing clause?
10. Do you favor protective legislation for those engaged in the manufacture and handling of Portland cement?
11. Do you believe that the state should provide work for residents during periods of general unemployment?
12. Do you favor a state constitutional amendment to regulate and limit the practice of courts to declare

7. Do you favor an amendment to the Constitution of the United States providing for the Initiative, Referendum and Recall?
8. Do you favor the right of the people to recall federal judges?
9. Do you favor an extension of the Chinese Exclusion Act so as to bar all Asiatics?
10. Do you favor the literacy test for all immigrants to the United States?

(附圖畫11)

ニ号 (概要)

加州州會議員候補者宛質問書

1. When there is conflict between human rights and property rights, will you give preference to the former?
2. Are you in favor of prohibiting judges from issuing injunctions in labor disputes?
3. Are you in favor of abolishing the property qualification of jurors?
4. Do you favor a system whereby voters absent from their precincts may nevertheless be enabled to cast their ballots at state elections?

laws unconstitutional?

101 十月八日

在桑港沿野総領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

加州政界ノ情況ト排日氣勢ニ関スル件

機密公第七六号

(十一月二日接受)

大正三年十月八日

在桑港総領事代理 沼野安太郎 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

加州政界ノ情況ト排日問題ノ形勢ニ関シテハ是迄屢次電報ヲ以テ概略及報告又労働派ノ排日の立法案質問ニ対スル各候補者ノ態度ニ関シテハ本月五日附機密公第七五号ヲ以テ申進候次第有之候処茲ニ更ニ其大体ヲ綜合記述シ左ニ報告申進候

第一、労働派ノ排日運動氣勢

過般米加州労働派諸団体ハ一旗幟ノ下ニ其結束ヲ鞏固ニシ州議會立法問題ニ関シ着々諸般ノ施設ヲ為シツシアリ特ニ選挙ニ先チ各立候補者ニ向ヒ労働者一般ノ利益ニ関スル幾多ノ施設案ヲ擬シ之ニ対スル賛否ノ意見ヲ告白セシメ以テ爾後ニ於ケル其ノ行動態度ヲ制縛セントスルノ方法ハ(此

種候補者ノ政治的予約ハ法律ヲ以テ禁止セラレアルニ拘ハ
ラズ) 州議會及政客ニ対スル労働派ノ勢力ヲ一層鞏固ナラ
シムル最有力ナル一手段ニシテ現ニ来ルヘキ十一月ノ加州
選挙ニ関シ早クモ彼等ハ去ル七月各立候補者ニ対シ排日立
法案其他労働者ノミニ好都合ナル十有余ノ設問ヲ掲ケテ其
賛否ヲ徴スルノ書状ヲ発シタルニ就テハ本官ハ其排日運動
氣勢並ニ之ニ対スル各候補者ノ態度ニ付特ニ注意ヲ払ヒ其
ノ成行ヲ觀測窺知スルニ努メ居候処労働派ノ排日氣勢ハ頗
ル強烈ニシテ選挙期日ニ近クニ從ヒ其活動益盛ナルモノ
アリ「ドクトル、ガイ」ガ予テ本官ノ内意ニ依リ労働派ノ
中堅団体タル California State Federation of Labor ノ
Secretaryニシテ事実上其ノ實権ヲ掌握シ居ル Paul Schar-
renberg ニ就キ屢次其ノ意嚮ヲ確メタル結果トシテ齋シタル
報告ハ実ニ別紙甲号写ノ通ニ有之候右報告ニ拠レバ労働
派ハ飽迄全東洋人労働者排斥ノ目的ノ貫徹センコトヲ期シ
日本人ノ借地条項削除ヲ目的トスル外国人土地法ノ改正ノ
如キハ其ノ最終目的ニ達スル一階梯ニ不過ト看做シ居リ尚
又彼等ハ来ルベキ州議會ニ於テ右改正案ノ通過ヲ見ルノ予
想十分ナリト信ジ居ル次第ニ有之候又最近加州労働派諸団

号新聞切抜参照) 而シテ進党共和党及民主党ノ執レモ九
月中旬「サクラメント」ニ於テ各大会ヲ開催シ別紙丙号新
聞紙記載ノ通り其ノ政綱ヲ發表シテ大ニ陣容ヲ整ヘ盛ニ氣
勢ヲ張り爾來各候補者ハ勿論其ノ政友党与全州内ニ奔走馳
驅シテ熾ニ運動遊説ヲ試ミ居候予備選挙後各党ノ形勢ハ未
ダ執レトモ容易ニ予断致シ難ク候ヘ共予備選挙ノ際投票者
数凡ソ六十万ナリシモノ其後本月三日選挙名簿締切ノ時迄
ニ登録セラレタル選挙権者ノ数殆ント百万内外(政客、新
聞等ノ推算) ニヨリ右ノ内共和党ニ属スルモノ甚タ多数ナ
リシトノコトニ有之(選挙名簿登録者ニ関スル其筋ノ報告
未タ發表セラレズ) 旁々察スルニ来ル十一月三日ノ本選挙
ニハ大体ニ於テ共和党及進歩党ノ候補者ノ選出多数ナルベ
キコト疑ナカルヘク又州知事選挙ニ付テハ結局「ジョンソ
ン」及「フレデリックス」兩氏間ノ競争ト相成ルベク而シ
テ兩氏ノ内果シテ執レカ最後ノ勝利ヲ得ルヤハ是亦今ヨリ
予測致兼候得共「ジョンソン」執政ノ四年間ニ於テ特ニ勞
働者其他一般民衆ノ為ニ施設シタル所甚ダ多カリシヲ以テ
同氏カ一般民衆ノ間ニ大ニ声望ヲ有シ居ルコトハ予備選挙
ニ於ケル書込ミ(Written, in votes) 投票者多数ナリシコト

体ハ「スタクトン」Stockton 市ニ於テ大会ヲ催シ連日諸
般ノ問題ヲ討議シツツアリシガ十月八日ノ決議事項中左ニ
掲クル一項ハ主トシテ桑港排日洗濯同盟ノミニ関スルモノ
ナルモ亦以テ多年ノ余燼今尚ホ熄マザルモノアルヲ見ルニ
足ルベシト存候

“Resolved, That the California State Federation of
Labor in convention assembled again extends to the
Anti-Japanese Laundry League its moral support and
endorsement.”

第二、加州政界ノ形勢

翻テ加州政界ノ形勢ヲ觀ルニ去ル八月二十五日予備選挙
(Primary election) 候補当選者顔触ハ共和党及進歩党ノ
大勢力ヲ有スル当州ノコトトテ全体ニ於テ兩党ノ各候補者
優勢ヲ占メ民主党及社会党ハ殆ト互角ノ狀態ヲ示シ政治的
中心力タル州知事候補當選者トシテハ現任知事タル進歩党
「ジョンソン」最高得点者ノ地低ヲ占メ共和党ノ「フレデ
リックス」第二位ニ居リ他ノ三名ノ共和党員ハ之ニ次キ民
主党ノ「カーチン」ハ僅ニ第六位(党派別ニヨラズ各自ノ
投票得点數ヨリ見レバ)ヲ贏得タル有様ニ有之候(別紙乙

斬然トシテ他候補者ノ群ヲ抜クモノアリシ依リテ粗ボ窺知
スルヲ得ベシ則チ「フレデリックス」ノ得票ハ其ノ所屬党
タル共和党選挙者ノ投票數十萬八千二百余ノ外ニ民主党派
ニ属スル選挙者ノ書込投票一千及進歩党派ノ書込投票塵々
七百ヲ得タルニ対シ「ジョンソン」ハ其代表スル進歩党選
挙者ノ投票十二萬一千五百余ノ外ニ共和党ニ属スル選挙者
ノ書込投票一萬四千五百余、民主党派ノ書込投票四千六百
余禁酒党社会党派ノ書込投票一千九百ヲ得タル次第ニテ此
等ノ事情ヲ考察スルトキハ或ハ結局州知事トシテ「ジョン
ソン」ノ再選ヲ見ルニ至ルベキカトモ被存候

第三、選挙ノ結果ト排日問題ノ運命

進歩党、共和党及民主党力糞ニ發表シタル政綱ニ付テ各党
カ所謂排日問題ニ対スル態度如何ヲ察スルニ民主党ノ政綱
中 We reaffirm the Democratic policy of opposition
to Asiatic labor in the United States of America and
favor Federal action will make the exclusion of such
labor permanent. ト謂ヒ亜細亞人労働者ヲ合衆国ヨリ排
斥スルノ政策ヲ遂行スベキコトヲ言明シタル外進歩党政綱
中ニハ塵ニ其ノ從來四年間執政ノ成績トシテ挙示スル中ニ

“It enacted the alien land law.”ノ数語ヲ挿入スルノミ共和党ノ政綱ニ至テハ何等直接排日問題ニ言及シタルモノ無之候乍去普通選舉ノ下ニ労働者其他一般民衆ノ勢力強大ナル当国政界ノコトナレバ今回ノ選舉ニ於テ各党派ノ孰レカ政權ヲ握ルニ至ルトスルモ其ノ政治施設ハ一般民衆ニ阿附スルコトニ努メサルヲ得ザル次第ナルコト固ヨリ言フ俟タズスル狀勢ノ下ニ翻テ労働派ノ行動ヲ觀察スルニ前記第一項ニ叙説シタルガ如ク各団体ヲ糾合結束シ明年ノ州議會ニ日本人ノ借地權ヲ奪フノ法律改正案ヲ通過セシメズンバ已マザルノ勢力ヲ以テ熾烈ナル運動ヲ為シ居リ而シテ各候補者カ前記労働派設問ニ対シテ為シタル回答ハ現ニ彼等ノ多数カ労働派ノ意ヲ迎ヘントスルモノナルコト殆ント疑ヲ容レスト存候(機密第七五号参照)

事情右ノ如クナルカ故ニ来ルベキ十一月ノ選舉ニ於ケル各党々勢ノ消長如何ニ拘ハラス明年二月ノ州會ニ於テ我邦人ノ借地權褫奪ヲ目発トスル法案ノ提出セラルベキハ最早疑ヲ容ルルノ余地殆シンド無之又今秋選舉ノ結果及州會ノ形勢奈何ニ依リテハ或ハ其ノ通過ヲ見ルコト無キヲ保セズト存候、尤モ一面各候補者中労働派ノ排日の設問ニ対シ反對ノ

加州下院議員候補者「クリッピンス」ヘノ

援助供与ニ関スル件

機密公第七七号

(十一月二日接受)

大正三年十月十日

在桑港總領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

排日案防止上州會ニ味方ヲ作り置クハ極メテ有利ナルコトニ付予テヨリ之カ施設ヲ心懸ケタル次第ニ候ヘ共何分ニモ所謂政客間ニハ不人氣ナル日本人ノ味方タラントスルモノ無之不勘困難ヲ感シ居候処過般来当館、日本人會及太平洋社等ニ出入スル「クリッピンス」W. W. Cribbins ナルモノアリ同人ハ「オークランド、トリブニーン」記者ニシテ同紙營業部ニモ關係アリ先頃同紙ニ於テ日本号ナル特別冊子ヲ發刊セントスル計畫アリ之カ為メ渡日ノ希望ヲ有シ当館ヲ始メ当地日本人側各所ヲ歴訪シタルガ知合ノ端緒ニ有之候右計畫ハ元来広告料ヲ目的トスルモノナレバ其成功モ疑ハシキノミナラズ本邦側ノ迷惑トナル惧モ有之コトニ付河上ヲシテ篤ト利害ヲ説明中止セシメ候得共其後同人ハ太平洋社ニ出入ヲ続ケ居タル処今回州會下院議員候補トシテ共和

意見ヲ確答シタルモノアリ其ノ多数ハ之カ為ニ労働派ノ激烈ナル反對運動ニ遭ヒ終ニ予備選舉ニ落選スルニ至リタルモ尚斯ノ運動ニ對抗シテ候補當選者ト為リタルモノ二十余名ヲ見タル事実ハ排日氣勢ノ横溢セル加州ノ現象トシテハ大ニ注目ニ値スルモノニシテ是レ昨年ノ日本人土地所有禁止法ヲ以テ余リニ苛酷ニ過キ又自己ノ為ニモ結局不利ナリトスル反動の傾向ヲ示スモノナリト觀察スルモノ尠カラズ而シテ各党候補者中未回答者及態度不鮮明者ハ其數極メテ多ク若シ幸ニシテ其多数カ我ニ同情アル態度ニ出ヅルコトアラバ此類勢ヲ挽回スル亦必ズシモ不能事ニ非ス本問題ノ成敗一ニ懸リテ是等中立の政客ノ向背奈何ニアリト存候右及報告候 敬具

附屬書類 甲、「ガイ」氏報告書

一、

乙、投票數ニ関スル新聞切抜

本信写送附先 在米大使

註 附屬書類省略

一〇二 十月十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛

党ヲ代表シ「オークランド」市ニ打出デタル為其費用負担ニ苦シミ居ル模様ニテ頻ニ日本人ノ為ニ尽力スベキヲ声明シソレトナク河上ニ援助ヲ求メタルニ付河上尽力ノ結果日本人會ヨリ支出セシメタリト称シ仮リニ啓發運動費中ヨリ金百弗ヲ用立テタルニ「クリッピンス」ハ熱心運動ノ結果過般ノ「プライマリー」選舉ニ首尾ヨク當選シ本選舉ニ関スル前途モ佳ナリ好望ナル様子ニ有之候

右「クリッピンス」ハ未ダ若輩ニテ特ニ深キ素養モナク日本人問題ニ関シテモ果シテ何程ノ確信アリヤハ別問題ナルモ同人ハ愛蘭種ニシテ弁論ニ長シ且ツ一種ノ商才アリ調法ナル人物ニ付州會議員當選ノ上ハ院内ニ於テ大勢ヲ左右スルカ如キハ望ミ難ク候ヘ共何カト我ニ好都合ナル用務ヲモ動メサセ得ベシト被存候ニ付過大ナル費用ヲ要セザル限り今後共相當援助ヲ与フル愚考ニ有之候

尚右「クリッピンス」所屬新聞「オークランド、トリブニーン」發行者「フォルスター」B. A. Forster ハ元独逸人ニシテ嘗テハ独逸海軍士官トシテ東洋ニ在動シタルコトモアル由ニテ其動機ノ如何ハ交際日尚淺ク窺知致難ヲ候ヘ共本邦ニ対シ頗ル好意ヲ有シ其紙上ニ於テ屢次忌憚ナク親日

の意見ヲ發表セシメタルコトモ有之今回日独開戦ニ就テモ別ニ態度ヲ変ズル模様無之候
右御参考迄及報告候 敬具

本信写送附先

在米大使

一〇三 十月十五日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ニ関スル同州州會議員當選者ノ

意見追報ノ件

第三〇九号

過日来「ガイ」氏ト協力シ排日防止策ヲ講シツツアル「アレキサンダー」氏(一九〇八年日本觀光実業團員)ノ首唱ニ依リ当地商工協會(労働党反对)ハ加州兩院議員候補當選者ニ対シ往電第二九四号労働党質問ニ如何ニ回答シタルヤヲ問合ハス書状ヲ送リタルニ同協會宛回答百十八アリ其内五十ハ全然回答セザリシモ四十三ハ反对二十五ハ賛成回答ヲ為シタルモノナリシ旨「ガイ」氏ヨリ報告ニ接セリ察スルニ往電第二九四号反对確答二十三ト前記四十三トノ差二十アルハ往電第二九四号態度不鮮明者三十二ノ大部分ハ

其実該案ニ反对ナル為労働派ニ対シテハ曖昧ナル回答ヲ為シ置キタルモノ今回商工協會ニ対シテ特ニ反对ヲ表明シ来レルモノト推測セラル御参考迄

在米大使へ電報ス

一〇四 十月十五日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止に關シ桑港有力者ニ於テ大

統領ニ請願ノ為代表者選定ノ件

第三〇八号

次期州会ニ於ケル排日案殊ニ借地権剝奪運動防止ノ為「ガイ」氏ヲシテ過般來運動セシメ居ル次第ハ既報ノ通ナルモ同氏ノ斡旋ニ依リ十月十四日当地有力者 Dollar, Hale, Anderson, Crocker, Dr. Jordan 等ノ諸氏会合ノ上左ノ方策ヲ協議決定セリ
公然防止運動ヲ行フ時ハ当州人ノ反感ヲ挑発シ労働派ニ乗セラルル虞アルニ付運動ハ總テ内密ニスルコト
此方法ニ依リ内密ニ大統領ニ代表者ヲ送り明年ノ博覽会中州会ニ於テ借地権剝奪案ヲ議スルカ如キハ時局柄米國中立ノ本義ニ累ヲ及ボス憂ナキニアラザルノミナラズ若シ通過

第三一四号

拙電第二〇八号末段 Judge Lindley ハ都合ニヨリ東行スルヲ得サルニ付 Regional Bank 重役兼加州銀行ノ副頭取タル Mc Intosh 代リテ十月十四日出発シタリ
右在米大使ニ電報ス

一〇六 十月二十二日

加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電報)

桑港博覽会參同決定ト關連シ加州排日法案阻止ノ必要ニ付大統領及國務長官ノ注意喚起方

訓令ノ件

第二八五号

貴電第三一〇号ニ關シ本大臣ハ本件ニ關シ大体貴官ト所見ヲ同ウシ此際断然博覽会ノ參同ヲ撤回スルヲ以テ兩國ノ国交上ハ勿論政府ノ立場ヨリ見ルモ最モ策ヲ得タルモノト認メタルモノ一面博覽会ニ対スル公私各般ノ準備今日ノ程度ニ達セル場合參同見合ハ殆ト不可能事ナル事情モアリ閣僚トモ数回討議ノ末遂ニ博覽会ノ參同ハ此儘実行スルコトニ決定セリ
然ルニ明年排日案ノ提出ハ今日ヨリ明カニ予見セラレ加フ

スルコトアラハ極メテ重大ナル結果ヲ齎ラスヘキ趣旨ヲ陳述シ大統領ヲシテ労働党首領 Gompers 等ニ対シ内諭又ハ適當ノ方法ヲ以テ尽力方請願スルコト

右代表者トシテ Judge Lindley ヲ選定シ既ニ同氏ハ十四

日夜当地發華盛頓ニ向フコトナレリ

尚本官ト「ガイ」氏トノ關係ハ前記諸氏ニ対シテモ嚴ニ秘密ニ附シ居レリ

右内報ス

在米大使ニ電報シタリ

註 Robert Dollar ハ「タラー」汽船会社社長ニシテ東洋通

ヲ以テ自任ス

R. B. Hale ハ桑港博覽会副總裁

Frank Anderson ハ Bank of California 頭取

Wm. Crocker ハ富豪ニシテ Crocker Bank 頭取

Dr. D. S. Jordan ハ前「スタンフォード」大学総長ナリ

Lindley ハ弁護士ニシテ桑港博覽会ノ顧問曾テ判事タリ

シロアツ

一〇五 十月十七日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ關シ大統領ニ請願ノ為ノ

桑港有力者ノ代表者變更ノ件

ルニ之カ予防策トシテハ何等の確ナル手段ナキコト及ヒ一旦排日案提起ノ上ハ通過ヲ予期セサルヘカヲサルコト並其場合ニ於ケル我國論ノ沸騰激甚ニシテ政府ニ対スル攻撃一通リナラサルヘキコト等總テ今日ニ於テ瞭然タル次第ナルニ付テハ此上ハ明年輿論ノ激昂ヲ幾分ニテモ緩和スルノ目的ヲ以テ今ヨリ排日案提起ノ件ヲ漸次國民ニ知ラシムルノ方法ヲ執ルト同時ニ出来得ル限り排日案防止ノ方策ヲ講スルノ外ナク而シテ明年我國論奔騰ノ程度ニヨリテハ自然兩國々交ニ累ヲ及ホスコトナキヲ期シ難ク此關係上本件ハ米國ニ取リテモ重大ノ問題ト認メラルルニヨリ貴官ハ國務長官ニ會見セラレ明年排日案ノ提出疑ナキニ至レルニツイテハ博覽會參同トノ關係上帝國政府ノ陷イルヘキ苦境ヲ訴ヘ日本ノ國論沸騰スルニ於テハ其極國交ヲ阻害スルニ至ルコトナキヲ期シ難キヲ恐ルル旨ヲ述ヘ且ツ事コトニ至テハ本件ハ決シテ日本ノミノ問題ニアラス米國ニ取リテモ決シテ輕カラサル問題ニシテ結局兩國共通ノ重大問題ナリト思料セラルル次第ヲ痛説シ米國政府ニ於テモ明年ノ排日案防止ニ關シ十分考量アラシコトヲ切望スル旨ヲ述ベテ十分國務長官ノ注意ヲ喚起シ同長官ノ之ニ對スル返答振並態度電報

一〇八 十月二十七日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日立法防止運動資金知事側ニ於テ辞退

ノ件

第四二一號

拙電第二九五號ノ件ハ其ノ後牛島ノ意ヲ受ケ知事ト親交アル Franken Heimer ヲ以テ知事選舉ヲ指揮シ居ル秘書ヲ通シ日本人側ヨリ選舉費補助ノ提供ヲナシタルニ秘書ハ日本人ノ好意ハ大ニ多トスル所ナルモ既ニ方針決定シ居ルコトニ付夫レニ及ハストテ極メテ鄭重ニ辭退シタル由但シ右知事ノ方針決定トハ別ニ排日ニ決定シタルトノ意ニハアラス日本人問題ニ付テハ形勢ニ応シ都合好キ態度ヲ取り得ル自由ヲ留保スルコトニ決定シ居ルトノ意ナルカ如シトノコトナリ右牛島ヨリ内報ノ儘報告ス惟フニ事情斯クノ如シトセバ本件ハ暫ク見合スノ外ナカルヘシ
在米大使ニ電報ス

一〇九 十月二十九日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

一〇七
セラレタシ

尚「ブライアン」氏トノ會話ノ模様ニヨリテハ貴官ハ適當ノ機會ニ於テ大統領ニ謁見ヲ求メ同様ノ趣意ヲ述ベ十分「ウキルソン」氏ノ誠意ニ訴フル様努メラルベシ
本電前段「然ルニ」迄ヲ沼野領事ヘ通報アレ將又加州問題ニ關スル米國政府六月二十三日附書翰ニ對スル帝國政府ノ回答ハ近日發送ノ筈ナリ

一〇七 十月二十三日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止方ニ關スル訓令執行ハ延引

ノ見込ナル件

第三七一號

貴電第二八五號ニ關シ國務長官ハ十一月ノ總選舉聲援ノ為メ地方遊説十一月六日帰華ノ予定又大統領モ十月二十四日田舎行二十六日迄滞在ノ趣ニ付当方返電ハ自然延引致可シ尤モ大統領帰華ノ上ハ國務長官代理トモ打合セ先方ニ差支ナキニ於テハ直接大統領ニ面會ヲ求メ御電訓ノ件開陳致度心組ナリ

桑港博覽會參同ト關連シ加州排日法案防止方

ニ付大統領ト會談ノ件

第三八一號

往電第三七一號ニ關シ本件ハ國務長官ノ帰華ヲ待チ第一次ニ於テ同官ニ開談スルヲ以テ適當ノ順序トナスヘキモ閣下宛沼野領事往電第三一四號ノ件モアリ又此頃 Gulick 博士ガ大統領ニ面謁ノ上本邦ヨリノ通信ニ基キ本邦人民ノ米國ニ對スル反感ヲ述ヘ可成速カニ日米問題ヲ解決スルノ必要ヲ説キタル事實アリ旁々此ノ際本件ニ付キ大統領ノ注意ヲ求ムルコト利益ナリト思考シタルニ付十月二十六日國務長官代理ヲ訪ヒ本件ノ事實ヲ詳述シテ大統領ノ引見ヲ請ヒタルニ同代理ハ加州労働派ノ運動ニハ毎度選舉ニ伴フ政事上ノ駆引モ多少之レ有ルヘキモ之レニ對シナルヘク予防ノ手段ヲ講スヘキハ無論ナルヲ以テ委曲大統領ニ具申ノ上速カニ引見ノ手續ヲ執ルヘキ旨答ヘタル結果本使ハ翌二十七日大統領ニ面謁ヲ遂ケ御訓令ノ趣意ヲ敷衍シ加州労働派ノ活動ノ実況ヲ語り並ニ往電第二四號中「帝國政府參同ハ排日氣勢ヲ緩和スルノ効アルヘシ云々」國務長官ノ談話ヲモ引援シテ帝國政府カ飽迄博覽會參同ヲ實行スルノ決心ヲ執ルニ

至リタルハ畢竟排日氣勢緩和ノタメ出来得ル限りノ手段ヲ
尽サントスル精神ニ出デタルモノナル事由ヲ説明シタルニ
大統領ハ右ニ對シ加州労働派ノ活動ハ實ニ遺憾ニ堪ヘサル
所ナルカ右ニ関スル日本国政府ノ憂慮ハ至極尤モナル次第
ニシテ米国側ニ於テモ之ニ對シ予防ノ方法ヲ講スヘキハ勿
論ナルモ其ノ実行手段トシテハ加州ニ對シ直接際立タル運
動ヲ試ムルカ如キハ實ニ憲法上不可能ナルノミナラス實際
ニ於テ地方人ノ反抗心ヲ挑発シ却テ目的ニ背馳スル結果ヲ
見ルノ虞アルヲ以テ飽迄間接ノ方法ニ依ルノ外ナシ排日運
動ノ中心ハ労働派ニアルカ故ニ自分ハ既ニ同派ノ某有力者
ニ会谈シ加州ニ於ケル形勢ニ付其ノ注意ヲ促スト同時ニ難
局予防方ニ付同氏ノ尽力ヲ求メ置キタリ尤モ右会話ハ二十
四時間以内ノ出来事ナレハ其効果如何ハ只今之ヲ知ルニ由
ナキモ相当実効ヲ上クルニ至ルヘシト信ス尙尙後モ同一ノ
目的ヲ以テ右以外ニ適當ノ手段ヲ執リ出来得ル限り防禦方
法ヲ講スヘシト述ヘラレタリ右談話ヨリ察スルニ大統領ハ
國務長官代理ノ具報ニ接スルヤ否ヤ直ニ Compers 氏ト会谈
ヲ遂ケ其ノ尽力ヲ求メタルモノノ如ク其語氣態度ヨリ見ル
モ大統領ニ於テハ大ニ本件ヲ重要視シ居ルモノト認メタリ

ド」「シャトル」各領事ヘ転電アレ

(附記)

米国ノ輿論ヲ動かサントスル独逸人ノ活動
日独開戦ノ当初米国ノ輿論我ニ不利ナルモノアラントシ在
米独逸人ノ有力ナル団体ニシテ米国一部ノ排日感情ヲ利用
シ時局ニ関シテ米国ノ同情ヲ日本ヨリ奪フテ独逸ニ傾カシ
メント試ミタル陋劣ナル手段並ニ大統領ノ中立義務ニ関ス
ル教書ハ米国民ノ反省心ヲ覚醒シ独逸人ノ輕躁不謹慎ナル
運動ハ却ツテ米国々民ノ健全ナル部分ニヨリ指彈セラレタ
リ邇來米国民ノ日本ニ對スル感情ハ大体ニ於テ好良ト称ス
ルヲ得ヘク(太平洋岸諸州ニ於ケル排日思想ハ別トシテ)
南洋諸島ノ軍事占領ニ関シテモ何等疑懼ノ念ヲ抱キ居ラサ
ルモノノ如キモ独逸人中曩日彼ノ輕躁ナル運動力失敗ニ終
リタルニ鑑ミ穩和謙讓公明正大ノ仮面ノ下ニ怨訴愁告の游
説ヲ為ス方却テ米国人ノ同情ヲ贏得スルニ有効ナルヲ自覺
シ專ラ其方法ニヨル活動ニ腐心シ居ルモノ少カラスト認メ
ラルルニヨリ在米独逸人ノ行動ニ對シテハ常ニ多大ノ注意
ヲ払フコト肝要ナルヘシ

米国ニ於ケル独逸人ノ表面穩和ナル活動中殊ニ注目ニ値ス

二 米国加州議休会中ノ形勢及同議會ノ排日立法ノ予防運動

一一〇 十一月四日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加州知事ノ再選確実ノ見込報告ノ件
第三二六号

三日当州選挙ノ結果既ニ分明セル限り現知事ノ再選殆ント
疑ナキカ如シ

一一一 十一月六日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

在米国独逸人ノ排日氣勢煽動ニ注意方訓令ノ
件

附記 米国ノ輿論ヲ動かサントスル独逸人ノ活動

第三〇八号

明年開会ノ加州其他太平洋岸諸州議會ニ於テ幾多排日法案
ノ提起セラルヘキハ必然ノ義ト認メラルル処此機ニ乗シテ
在米独逸人ガ新聞操縦ノ外野心アル政治家又ハ労働組合等
ヲ煽動シ日本人排斥ノ大運動ヲ試ミ陰險惡辣至ラサルナカ
ルヘシト思考セラルルニ付右ニ對シ不絶細心ノ注意ヲ払ヒ
事情ヲ精探シ隨時当方ヘ報告スルト共ニ臨機必要ノ処置ヲ
採ラルル様致シタシ尙ホ右ハ訓令トシテ桑港「ボートラン

ルハ知名独逸人ノ著作ニカカル独逸ノ開戦理由説明書ノ配

布ナリトス此種印刷物中特筆スヘキモノ左ノ四種アリ

(一)「ビューゴー、ミュンステンベルグ」博士著「戦争ト垂
米利加」

博士ハ多年米国「ハーヴァード」大学哲学講座ヲ担任ス
ル碩学ニシテ著書少カラス米国氣質ノ賞揚者独逸魂ノ鼓
吹者トシテ米独両國人間ニ名聲噴々タリ
尚博士ハ独逸皇帝ノ親友トシテ知ラル

(二)「独逸並ニ戦争ニ関スル真相」ト題スル冊子

本冊子ハ左記八名ノ連名ニテ公ニセラル

漢堡亞米利加汽船会社重役会々長「バリン」

独逸前宰相「プリンス、フホン、ビニーロー」

「ドクトル、ドライアンダー」(伯林)

「プロフェッサー、フホン、ハルネック」(伯林著名ナ

ル聖書研究家)

「ドクトル、ランプレヒト」(「ライプチヒ」)

「ジューグフリード、ワグナー」(作曲家「ワグナー」ノ

息)

「プロフェッサー、ヴント」(著名ナル心理学者)

一一一

一三五

「スベック、フホン、ステルンベルグ」男爵夫人（前駐米獨逸大使未亡人ニシテ故男爵ハ「ルーズヴェルト」氏ノ親友ナリ）

此等人士ノ米國ニ於ケル名声ハ既ニ定評アリ各人何レモ米國ノ有力者間ニ無数ノ友人ヲ有スルモノト認メラル

(三)元殖民大臣「ドクトル、ベルナード、デルンブルグ」書翰

(四)「世界耶穌新教徒ニ」ト題シ「オイケン、ハルナック、ドライアンダー」等知名ノ學者ヲ併セテ獨逸宗教界ノ明星三十一名ノ連署ニテ発刊セラレタル冊子

以上諸書ノ著者トシテ公ニセラレタル人士ハ何レモ米國內ニテ名望赫々タル人々ニシテ其一言一句ハ米國ノ讀者ニ深甚ノ感動ヲ与フルモノト稱スルモ過言ニアラザルヘク輕跳不謹慎ナル先頃ノ運動ニ反シ此等著書カ隱約ノ間米國人ノ心理ニ及ホス勢力ト影響ハ蓋シ侮リ難キモノアラン今此等書冊ノ内容ヲ査スルニ何レモ獨逸今回ノ開戦ハ獨逸文明擁護ノ為メ已ムヲ得サルノ拳ナル旨ヲ引証數行シタリ著者ノ言ニ由レハ獨逸文明ハ人文ノ精華ニシテ其文明ノ進歩大成ヲ嫉視シ阻害セントスル四隣列國ノ暴狀ハ獨逸人ノ到底耐

個中ノ消息ヲ三思セスシテ可ナランヤ

註 右ハ當時其ノ出所ヲ示スコトナクシテ新聞紙ニ掲載サレタリ

一一二 十一月七日 加藤外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛（電報）

十一月三日總選舉當選者ノ政派別報告方訓

令ノ件

附記一 加州總選舉議員候補者ノ排日意見概覽

二 米國太平洋岸三州州會及國會議員党派別

第八八号

十一月三日總選舉ノ結果加州知事中央議會及州會議員當選者政派別電報アレ「オレゴン」州及「ワシントン」州ニ関シ同様ノ件訓令トシテ「ポートランド」及「シヤトル」領事ヘ電報アレ

（附記一）

加州總選舉議員候補者ノ排日意見概覽

加州ニ於テハ十一月三日知事及議員ノ總選舉行ハレ其結果現任知事「ハイラム、ジョンソン」氏ノ重任ト為リシガ右選舉場裡ニ立チタル議員候補者ガ東洋人問題殊ニ加州土地

二 米國加州議會休會中ノ形勢及同議會ノ排日立法ノ予防運動 一一二

一三七

フル所ニアラス止ムナク干戈ニ訴ヘテ獨逸文明ノ進路ヲ拓カントスルノミ平常文芸ノ進歩ニ渾身ヲ捧ケ平和ノ必要ヲ唱導シテ人後ニ落チサリシ著者等ニ於テモ事效ニ至リテハ亦銃劍ヲ執ツテ膺懲ノ軍ニ伍スルヲ其義務ト確信ス今次ノ挙ヲ以テ獨逸皇帝若クハ政府内ノ武人カ徒ラニ武ヲ好ミ名譽ヲ博スルニ急ナルカ為メニ起シタルモノナリト為スカ如キハ曲解モ亦タ甚シキモノナリ云トアリ獨逸ノ藝術科學ヲ伝習スルコト深ク其感化ニ浴スルモノ多數ナル米國人ニ對シ獨逸文明擁護ノ必要ヲ説キ獨逸國民ノ活動ニ懇渥ナル同情ヲ寄スル米國人ニ對シ今次ノ事國民實ニ之ヲ決行セリト懇フルカ如キ獨逸一流ノ狡策ヲ弄セル跡歷々タルモノアリ且ツ夫レ米國々内獨逸人口ノ多キハ既明ノ事實ニシテ最近ノ調査ニヨレハ人口十万以上ノ都會五十市中二十八市ニ於テハ獨逸人遙カニ他外國人ヨリ多數ナリト言ヘハ上記獨逸知名人士ノ論旨ハ各地ノ同國人ニヨリ再轉三轉シテ周ネク米國內ニ布及スヘク隨テ之ヲ傍觀スルニ於テハ現下日英露仏ニ寄セラレタル米國ノ同情將來不測ノ動搖ヲ來スコトナシト言フヘカラス況ンヤ本邦ニ関シテハ加州其他ノ排日運動アルニ於テヤヤ苟クモ日米兩國ノ國交ヲ慝念スルモノ

法改正問題ニ對シテ如何ナル意見ヲ發表シタルカヲ見ルハ州内排日感情ノ趨勢ヲ察スルニ好個ノ資料タルヲ失ハサルヘシ

右候補者ノ意見ヲ知ルニ便宜ヲ与フルハ曩ニ州内労働組合ノ連合會ヨリ労働者ノ利害ニ關係アル諸問題ヲ列挙シ之ニ對スル國會及州會議員候補者ノ意見ヲ徵スルカ為メ各候補者ニ發送シタル質問書ナリトス其問答左ノ如シ

（第一）、現行支那人入國禁止法ヲ總テノ亜細亞人ニ適用スルノ可否（本問題ハ合衆國議會ノ立法事項ニ屬スルヲ以テ加州選出中央會議議員候補者ニノミ質問セラレタリ）本問ニ對シ斷然其不可ヲ唱ヘタル反對論者ハ社會黨ニ屬スル一候補アリタルノミニテ候補者總數約六割ノ多數ハ贊成ヲ明答シ其他ハ不回答ニ終リタリ

（第二）、現行加州土地法ヲ改正シ歸化權ナキ外國人ニハ三年ノ借地權ヲモ許与セサルコトトナサントスルニ對スル贊否

本問ニ對スル答弁ヲ上下兩院議員候補者ニ分チテ總括スレハ左ノ如シ

（一）上院議員候補者總數六十四名内二十八名ハ無回答又ハ

其他ノ理由ニヨリ態度分明ナラス回答者三十六名中二十名ハ賛意ヲ明示シ七名ハ之ニ反対シ九名ハ明答ヲ避ケタリ之ヲ政派ニヨリ區別スレハ共和党候補者ハ大部分回答セズ僅ニ一名ノ賛成者ヲ出シタルノミナルガ進歩民主禁酒ノ各党候補者ハ三分一社会党候補者ハ其半数賛意ヲ確答シタリ

(一)下院議員候補者総数二百八十一名中全然回答セサルモノ百二十三名質問書送付不能ナリシモノ十六名ニテ略言スレバ約半数ハ其態度ヲ窺フニ由無ナカリシ而シテ回答者百四十二名中百三名ハ賛成ヲ確答シ十六名ハ反対二十三名ハ明答ヲ避ケタリ本問ニ対シテモ共和党候補者ハ其返答ヲ回避シ半数以上ハ其意見ヲ明示セザリシモ回答者ハ殆ト全部賛意ヲ表シ進歩民主両党何レモ三分一社会党ハ過半数賛成者ニシテ禁酒党ノミハ賛成者寧ロ少数タルノ結果ヲ示シタリ

由之觀之候補者総数中ノ百六十七名即約半数ニ関シテハ其態度判然セサリシモ百二十三名即総数三分一ハ労働派ノ主張ニ左袒スルモノナルコトヲ示シ反対確答者ハ僅々二十三名ニ過キサル事実ニ推シ当選者ノ州会ニ於ケル態度モ略

終リニ本件ニ関シテハ米國労働派及ヒ煽動政治家ノ活動ノ外在米独逸人ノ惡辣手段カ隱約ノ間ニ問題ノ進路ニ影響ヲ及ホスコトアルヘキニツキ此点ハ常ニ考慮ノ内ニ置クコト必要ナルヘシ

(附記二)

米國太平洋岸三州州会及国会議員党派別

十一月上旬「カリフォルニア」「オレゴン」及「ワシントン」ノ三州ニ於テ行ハレタル総選挙ニヨリ選出セラレタル此等諸州議會議員ノ政派別ヲ調査スルニ概ネ左ノ如シ

(第一)「ワシントン」州

(一)下院議員、総数九十七名中共和党七十八名民主党十三名進歩党六名

(二)上院議員、総数四十二名(内一名欠員)中今回半数ノ改選アリ其当選者ヲ居据リ議員ト併セタル政派別ハ共和党二十七名進歩党八名民主党六名ナルモ進歩党不振ノ折柄同党ニハ今後幾分ノ脱党者アルヘキ見込ナリ本州知事ハ民主党ニ属ス

(第二)「オレゴン」州

(一)下院議員、総数六十名中共和党五十七名民主党二名無

二 米國加州議会議休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動 一一二

予測スルニ難カラサルヘシ

加州ニ於ケル労働団体ノ勢力ノ旺盛ナルハ既知ノ事實ニシテ排日感情ノ挑発煽動主トシテ同団体ノ運動ニ基因スルモノナルコト是亦世ニ周知セラルル所ナリ今其近今ノ情勢ヲ察スルニ其活躍前日ニ倍スルノ觀アリ東洋人労働者排斥ノ宿望ヲ達センカ為メニハ極メテ辛辣ナル手段ヲ講シ現ニ前記ノ如ク議員候補者ヨリ質言ヲ執ルノ途ニ出テ偶々労働派所説ニ反対スルモノアルヤ極力其当選ヲ妨害シ候補者ヲシテ先ツ労働派ニ叩頭セシメツツアリ尚ホ最近州内労働派諸団体ノ大会ニ於テハ日本人洗濯業者驅逐奨励ニ関シテ決議スルトコロアリタリ

將又今回ノ総選挙ニ於ケル諸政党ノ綱領ヲ見ルニ共和党ハ何等日本人問題ニ言及スルナキモ知事ノ率ユル進歩党ハ土地法制定ノ効ヲ特筆シ民主党ハ其年來標榜セル亜細亞人労働者排斥ヲ重ネテ明示セリ事態右ノ如シトセハ明年一月開會セラルヘキ加州第四十一議會ニ於テ又々各種ノ排日の法案提出セラレ就中借地權剝奪ニ関スル土地法改正案ノ提起ヲ見ルハ最早疑ノ余地ナキカ如ク既ニ之カ提起ヲ見ンカ兩院通過ハ昨年ノ事例ニ鑑ミ之ヲ予期スルノ外ナカルヘシ

所属一名

(一)上院議員、総数三十名中共和党二十八名民主党二名本州知事ハ共和党ヨリ出ツ

(第三)「カリフォルニア」州

(一)下院議員、総数八十名中共和党三十四名進歩党二十六名民主党十五名社会党三名禁酒党二名

(二)上院議員、総数四十名中今回改選セラレタル半数即二十名ハ進歩党十名民主党六名共和党四名ヨリ成リ之ヲ留任議員ト併スレハ上院ニ於ケル名義上ノ政党派別ハ進歩黨員二十七名民主党九名及共和党四名ナルモ民主共和兩党中進歩主義ヲ持シ知事ノ政綱ニ左袒スルモノ三四アル模様ナレハ明年州会上院ニ於ケル実勢ハ進歩派少クトモ三十名ヲ算スヘク上院ハ知事ノ意ノ儘ニ動カサルモノト予測シテ可ナルヘシ

尚又今回ノ総選挙ニヨリ上記三州ヨリ選出セラレタル合衆國議會議員ノ政党派別ヲ示セハ左ノ如シ

上院議員 下院議員

ワシントン州 一名共和党 五名(共和党四名 民主党一名)

一 一三九

二 米国加州議会議休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

一一三 一一四 一一五

一四〇

オレゴン州

一名民主党

三名 共和党

カリフォルニア州

一名民主党

共和黨 四名
進歩黨 三名
獨立黨 一名

註 右附記一及同二ハ出処ヲ示スコトナク単ニ情報トシテ新

聞紙ニ掲載サレタリ

一一三 十一月十日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ関シ桑港有力者ノ代表者

ヨリ大統領宛陳情書提出ノ件

第三三六号

往電第三一四号ニ関シ McIntosh 帰米 Guy 氏ニ語ル所ニ拠レハ同氏ハ大統領ト短時間会见ヲナシ更ニ國務省参事官 Lansing (國務長官不在) ニ対シ詳細ノ陳述ヲナシ大統領宛陳情書ヲ提出シタルニ Lansing 氏ハ労働党ハ現政府ニ負フ所多キニ付能ク政府ノ指揮ニ従フヘク且ツ現政府ハ加州ニ於ケル現状維持ノ為メ最善ノ努力ヲナスベシト語レル由尚ホ往電第三〇八号所載ノ Judge Lindley カ此程来加セル内務長官 Lane 氏ト会见ノ際同長官ハ労働党ニ関シ前記國務省参事官ト略ホ同様ノ意見ヲ述ヘ且ツ中央政府ハ

加州排日法案予防ニ関シ同州知事ニ申入方及

「ルーズヴェルト」氏ヘ斡旋依頼方等ニ関ス

ル件

第三二五号

明年加州議会議ニ表ハルヘキ排日法案予防方ニ付閣下ノ内談ニ対シ大統領ニ於テモ相当尽力セラルヘキコトト信スルモ果シテ何程ノ効果アルヘキヤハ予見シ難キニ付他ニモ夫々相当ノ方法ヲ講スルノ必要アリ今回総選挙ノ結果ヲ見レハ進歩党ハ殆ント全滅ニ歸シタルニ拘ラス独リ加州ニ於テハ同党ノ勢力依然トシテ侮ルヘカラサルモノアリ「ジョンソン」氏知事ニ再選セラレタル趣ナリ就テハ同知事ニ往電二八五号ノ次第ヲ懇口ニ開陳シ今一応篤ト其考慮ヲ煩シ場合ニヨリテハ同様ノ開陳ヲ「ルーズヴェルト」氏ニ通シ其斡旋ヲ促スモ一方法ニアラスヤト思考セラル尤モ「ル」氏ヲ通シテ知事ヲ動かサントスルノ運動ハ昨年既ニ何等ノ成果ヲ見スシテ止ミ今又「ル」氏カ政治的ニ落魄シ其勢力ヲ失墜シタル今日到底多キヲ望ムコトハ得サルヘキモ其悲境ニ在リテ知己ヲ求ムルノ境遇ニアルハ或ハ反テ彼ヲ利用スルノ時機ナルヤモ難計殊ニ明年ハ昨年ノ侮辱ニ拘ラス兩國間

非友好的の立法ヲ防遏スルコトニ努ムル考ナリト言ヘルモ其方法ニハ言及セザリシトノコトナリ
在米大使ニ電報ス

一一四 十一月十二日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

排日法案防止ニ付國務長官尽力言明ノ件

第四一九号

國務長官帰京シタルニ付本使ハ十一月十二日接見日ニ往訪シテ貴電第二八五号御訓令ノ趣申入レタル所長官ハ本使ニ対シテ十一月十一日夜大統領ニ面会ノ節大統領ハ往電第三八一号ノ次第ヲ逐一長官ニ告ケタル旨ヲ語り且大統領ハ本件ヲ頗ル重要視シ居ル旨ヲ附言シタリ尚長官ハ特ニ博覽會開會中排日法案提出サルルカ如キコトナキ様自分ニ於テモ十分尽力スヘク併シ加州知事ニ直接申入ルルハ却テ面白カラサル結果ヲ生スヘキニ付不取敢博覽會々々長ニ書面ヲ送りテ間接ニ加州知事ニ説カシメ知事ノ態度如何ニ依リテハ更ニ他ノ間接方法ヲ講スヘキ旨ヲ述ヘタリ

一一五 十一月十三日

加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

係ノ大体ニ鑑ミ忍テ博覽會ニ参同スル關係上日本ハ昨年ニ比シ排日案ニ対シ抗議スベキ更ニ多クノ理由ヲ有スル次第ナルニヨリ適當ノ方法ヲ以テ彼ニ近寄ラハ万一ノ僥倖ナキニモ限ラサルベシト思惟セラル若シ大体ニ於テ御同見ナルニ於テハ再ヒ知事並ニ「ル」氏トノ仲介ニ用ユヘキ人物及説得ノ方法等ニツキ御熟考相成リ尚他ノ方面ニ運動ノ方法等御心付ノコトアラバ併セテ御意見電報アリタシ

一一六 十一月十三日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

加州排日法案防止ニ関スル同州米国人有力者

委員会ノ運動ニ関シ報告ノ件

機密公第九三号

(十二月三日接受)

大正三年十一月十三日

在桑港

總領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

当地有力ナル米人 Committee ガ「ガイ」氏斡旋ノ下ニ過般来数次會合シ排日案防止ノ為協力一致ノ態度ヲ執ルニ至リタル次第ハ曩ニ十月二十一日附機密公第八四号教化運

二 米国加州議会議休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

一一六

一四一

動事業報告書ニテ御承知ノ通ニ有之又其後右 Committee ヨリ直接大統領ニ陳情スル為委員ヲ華府ニ派シタルコト並ニ其ノ結果ニ付テハ其ノ都度電報ヲ以テ及報告置候次第ニ有之候処今般「ガイ」氏ハ本件ニ関スル報告書別紙ノ通本官ニ差出候該 Committee ハ其代表者カ華府ヨリ齎シタル報告ニ依リ排日案防止運動大ニ望ミアリト觀ジ一同奮ツテ夫々計画スル所有之而シテ其ノ運動方策トシテハ労働派ニ對抗シ広ク公ニ向テ唱道スルコトヲ避ケ成ル可ク隱密着実ニ実効ヲ期セントスルノ趣旨ニ依リ特ニ加州選挙ノ終了シタル今日ノ機会ニ於テ各当選議員ヲ個々ニ其居住地方ニ訪問遊説シ以テ之ヲ動カスコト可然ト一決シタル趣ニテ又右実行ニ付テハ相当資金ヲ要スルコトトテ前ノ國務次官ニシテ目下加州内「バーリンゲーム」ニ居住ノ「ルーミス」氏ハ此費用ノ為「カーネギー」平和財団資金ヨリ米貨一万弗支出方ニ付自ラ運動ヲ試ムベキ趣ニ有之候尤モ右費用トシテハ必スシモ一万弗ヲ要セザルベク五千弗位ニテ事足ルコトナルベク若シ「カーネギー」平和財団ヨリ支出ヲ得ザル場合ニ於テハ「ガイ」氏ハ Committee 各自ヲ説キ之ヲ負担セシムル様努力スベキ管ナリトノコトニ有之候然ル

十一月十三日 Captain Dollar 来訪本官ノ内聞ニ供スルトテ排日防止運動ニ從事シ居ル旨ヲ述ヘ(内容往電第三〇八号及第三三八号)右ハ新聞紙等外間ニ秘シ居ルモ若シ加州人カ次期州会ニ於テ再ヒ排日ヲ通過スルカ如キコトアラハ結果必ス重大ナルモノアルヘキハ自分等重立タルモノモ憂慮ニ絶ヘサル所ニシテ之カ為メ前記ノ通り銳意排日對抗策ヲ講シツツアル次第ハ特ニ諒トセラレタシト縷々懇談アリタリ尚同氏ハ商用上十一月十四日出帆ノ「コレア」号ニテ東洋ニ赴キタル所日本ニテ渋沢男其他本邦有力者トモ協議シタシトノコトニ付渋沢男其他ニ可然御伝ヘアリタシ在米大使ヘ郵報ス

一一八 十一月十七日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案予防ニ関シ同州知事ニ申入方及

「ルーズヴェルト」氏ヘ幹旋依頼方ニ付意見

回電ノ件

第四二六号

貴電(排日法案予防)第三一五号御申越シノ件熟考ヲ遂ケタル処加州知事ニ対シテハ往電第四一九号ノ通り國務長官

二 米国加州議會休会中ノ形勢及同議會ノ排日的立法ノ予防運動 一一八 一一九

ニ「カーネギー」平和財団ヨリ右費用支出ノ件ハ昨年モ同様ノ計画事業ノ為メ「ルーミス」氏ハ同様ノ申出ヲ為シタルコトアリシモ終ニ不成功ニ了ハリタル例モアリ今回果シテ都合好ク其運ニ至ルヘキヤハ甚タ疑ハシク又右執レニスルモ本件 Committee ノ計画ハ排日案防止運動トシテ妥當適切ナル措置ト被存候ニ付本官ハ「ガイ」氏ニ対シ同氏等ノ斯計画事業遂行上必要ナル費用ニ付テハ我方ヨリモ相當ニ或ハ次第ニヨリテハ其大部分ヲ負担スル様尽力致スベキ旨申告置候条右御承知置相成度尚ホ委細ハ別紙「ガイ」氏報告書ニテ御査閱相成度此段申進候 敬具

附屬書

一、「ガイ」氏報告書 一通

本信写送附先

在米大使

註 「ガイ」氏報告書省略

一一七 十一月十五日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ付「ダラー」氏尽力ノ件

第三四六号

ニ於テ間接説得方ヲ約束セラレタルニ付其結果ヲ見極ムル迄ハ当方ニ於テ措置ヲ執ルノ必要ナカルヘシ「ルーズヴェルト」氏ニ対シテハ同人ト親交アル「ヘンリー、ホワイト」氏ニ本使ヨリ事情ヲ打明ケ同氏ヲシテ「ルーズヴェルト」氏ヲ説カシムル方可然ト思考ス此義御異存ナカルヘキヤ折返シ御回電ヲ請フ尚「オラフリン」モ仲介者トシテ使用シ得ヘキモ同人ハ数日前歐洲ヘ向ケ出発明年一月ニ至ラサレハ帰国セサル趣ナリ尤モ十二月米國議會開会ノ頃ニハ他ニモ適當ノ者ヲ見出し得ルヤモ計ラレサルモ目下ノ処本使ニ於テ別ニ思付ナシ

一一九 十一月十八日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

加州排日法案明年同州議會ニ提出必至ニ付右

ニ対スル在桑港邦人ノ態度問合ノ件

第三二一号

左ノ通沼野領事ヘ転電アレ

第九三号

明年加州議會ニ排日案ノ提起ヲ見ルコト必至ノ趨勢ナルハ從來貴官其他ノ報告ニ徴シ明ナルヲ以テ政府ニ於テハ明春

咄嗟急激ニ来ルヘキ国民ノ失望憤怒ヲ緩和予防シ出来得ル限り輿論激昂ノ程度ヲ低カラシメンガ為メ今ヨリ徐ロ二本問題ニ関スル諸種ノ情報ヲ公然トナク新聞等ニ掲載セシメ漸次国民ノ心裡ヲ馴ラシツアル次第ナル処近日桑港来電トシテ新聞ニ顯ハルル所ニヨレハ在桑港本邦人ハ明年排日案ノ提出ヲ予期セズ仮令提出サルモ何等防止の手段ヲ採ラサル覚悟ナリト言フニ一致シ昨年彼等カ大ニ母国官民ノ声援ヲ求メ来リタル態度ト著シキ相違アルカ如シ右ハ畢竟在米日本人ニ於テ本問題ノ性質上母国ノ声援ニヨリ米國ヲ動かス事極メテ困難ナルノミナラス日米間ノ葛藤ハ延テ自家ノ利益ヲ害スヘキヲ自覺シ昨年ノ經驗ニ懲リ今回ハ反動的ニ母國ノ注意ヲ冷却シ自己ヲ比較的利益ノ地位ニ置カンカ為メ只管無事ヲ粧ヒ一時ヲ糊塗セントスルモノニ非ザルカト想像スル向キアリ果シテ然ルニ於テハ政府ノ態度ト全然反スルモノニシテ明年事實排日案ノ提起セラレタル際我國論ノ沸騰ヲ一層激甚ナラシムルモノアルヘシト思考セラ

ルルニツキ右ニ関スル事實並ニ御意見電報アレ

1110 十一月十八日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

ラズ他ノ民主党員モ之ヲ以テ進歩黨攻撃ノ武器トナス事ナカリセハ別言セハ加州民主党員カ驕虎ノ勢事態如何トモナシ難キニ至リシニ先立ち千九百十二年総選挙後最近ノ機會ニ民主党領袖カ Sanford 等ニ嚴命シ排日問題ヲ agitate スルノ危険並ニ却テ進歩黨ノ反噬ニ会ヒ徒ニ民主党タル中央政府ヲ窮地ニ陥ラシムルニ過キサル所以ヲ納得セシメ置クヲ得タリトセハ當時州会ノ形勢大ニ其趣ヲ異ニセシヤモ知ルヘカラサルナリ然ルニ Sanford 等ハ之ヲ agitate シ進歩黨攻撃ノ武器ニ利用シ中途撤回シ難キ事態ヲ醸成スルニ至リ中央政府ノ勸告モ遂ニ如何トモ仕難カリシナリ故ニ今ニ於テ先ツ中央当局者ヲシテ加州民主党員ヲ戒飭セシメ置クヲ得ハ政界ノ事固ヨリ的確ノ予想不可能ナルモ次期州会ハ或ハ意外ニ無事ナルヲ得ヘシ

(二) 借地權禁止ハ昨年ノ土地法ト異ナリ極端ナル排日論者以外ハ加州ニ於テモ余リ人氣ナク今回ノ大乱明年ノ博覽会等ニ顧ミ一般ノ形勢ハ寧ロ我ニ有利ナリト見受ケラルル処現知事ノ意嚮ハ大臣宛客年往電第二五三号前段及本年往電第三二二一號ノ自党ノ態度ヲ予約スルヲ好マスト云フハ単ニ民主党員等力進ンテ排日問題ニ関シ Issue ヲ進歩黨ニ迫ルコ

加州州会總選挙ノ結果ニ鑑ミ同州排日法案予
防策ニ付稟申ノ件

第三五一号

大使ハ第一七六号

今日迄發表ノ結果ニ依レハ上院ハ進歩黨過半数ヲ占メ全然現知事ノ掌握ニ歸シ下院ハ共和党三十三進歩黨二十八民主党十六其他三ニシテ共和党進歩黨兩党共助力ヲ必要トス即チ民主党ハ次期州会ニ於テ下院ニ於テ権力均衡ノ鍵鑰ヲ握ルモノニシテ其嚮背ハ排日問題ノ消長ニ重大ナル關係ヲ有ス

(一) 故ニ若シ民主党タル中央政府カ其適當ト認ムル民主党領袖(例ヘバ Phelan, Lane, Davis, Caminetti 等)ヲ通シ明年ノ州会ニハ決シテ排日問題ヲ提出スヘカラサル旨ヲ加州民主党議員全体ニ命令シ悉ク此節制ニ服セシメ得ルニ於テハ明年ノ州会ハ案外無事ニ經過シ得ヘキ見込アリ蓋シ排日ヲ標榜スルモノハ元来民主党ナリ民主党ニシテ若靜謐ヲ保タバ進歩黨ハ進ンテ排日案ヲ通過ヲ強ントスルモノニアラサルヘク現ニ昨年ノ州会ニ於テモ若シ民主党上院議員Sanford カ排日土地法ヲ提出スルコトナク若クハ通過ヲ迫

トアルヘキ万一ノ場合ニ備フル為メニ過キサルモノト見ルヲ得ヘク自ラ進ンテ排日案ヲ提出スル意ナキモノノ如シ(二) 共和党及進歩黨員中ニハ次期ノ州会ニ於テ排日案ノ提出ヲ計画セルモノアルハ疑ヲ容レス此等ニ對シテハ可成中央政府ヲ避ケ当地方ニ於テ機密華第七五号拙信所載(大臣宛機密第九八号拙信)其他適當ノ方法ヲ講スルコトヲ得ヘシ就テハ此等ノ事情及排日ニ関スル本邦輿論ノ傾向等華盛頓當局ニ披瀝シ議員等ノ「サクラメント」參集前遲クトモ十二月申迄一切ノ排日問題ヲ提起セサル様民主党ノ態度節制ヲ嚴明ニスル為メ中央ニ於テ適當ノ方法ヲ講セシメラレンコトヲ切望ス大臣ニ電報シタリ

1111 十一月十九日 加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使及在桑港沼野總領事代理宛

加州次期議會ニ提出予期ノ外國人土地法改正
案ニ関シ米國大使トノ會談要領送付ノ件

附屬書 右會談要領

通機密送合第一号(華府及桑港宛各通)

加州外國人土地法改正案ノ次期議會ニ提出アルヘク予期セラルル儀ニ関シ在本邦米國大使トノ會談要領別紙ヲ以テ差進候御査誦相成度候也

(附屬書)

加州外國人土地法改正案ニ関シ米國大使トノ會談

要領

(十一月十三日)

大正三年十一月十三日米國大使別用ノ為大臣ヨリノ求ニ応シ來省ノ際大使ヨリ近頃新聞等ニ加州ニ於ケル土地法案ノコト見エ居ル処貴方ニハ何カ右ニ関シ報告等モ有之コトト思考スルヲ以テ御差支ナキ限り御話願ヒタシト申出デタルニ付大臣ハ其事モ今日御話セント思ヒ居タルコトノ一ツナリ先頃加州労働派ヨリ國會及州會ノ候補者ニ宛テタル土地法案ニ関スル賛否ノ問合ニ対スル回答ノ統計ヲ近頃在桑港總領事ヨリ電報ニ接シタルカ右ニ依レハ賛否ヲ表セサル者モアレトモ右排日的規定ニ対スル賛成者數頗ル多ク反對者數トノ懸隔甚タ大ナレハ此分ニテ來春加州議會ニ於テ該法案ノ提出ヲ見ルコトハ最早疑ナキコトト思考セラルル殊

ニ今回加州々會候補者ニ宛テタル問題ハ土地賃借權ヲモ日本ニ対シテ許スヤ否ヤト言フ点ニ在リ事態頗ル面白カラザルモノト認メラル帝國政府ハ此情況ヲ看過スルコト能ハサルニ付先般來珍田大使ヲシテ貴國中央政府ニ對シ該法案提出防止方ヲ御依頼セシメ居リ國務長官ハ地方遊說中ナリシ為珍田大使ハ不取敢大統領ニ面謁スルノ機會ヲ得テ日本ノ博覽會參加ニ関連シテ日本ノ立場ヲ説明シ排日氣勢緩和ニ関スル大統領ノ助力ヲ求メタルニ大統領ハ右申出ヲ諒トシ只直接干涉ノ途ナキヲ以テ間接ノ方法ニ依ルノ外ナキヲ以テ労働派ノ某有力者ニ對シ現ニ尽力ヲ求メタル旨答ヘラレタル趣ニテ右有力者ハComptons氏ナランカトノコトナリ斯ル場合ニ立至リテ尚博覽會參加ノ方針ヲ繼續スルハ甚タ面白カラサル次第ニシテ其事ハ常ニ氣ニ懸リ居リタル故曩ニ現内閣成立ノ時早速(殆ト自分ノ就任ノ其日ナリシカト記憶ス)本件ハ如何成リ居ルヤ取調ヘタル処前内閣ニ於テ躊躇ニ躊躇ヲ加ヘタル後遂ニ參加ニ決定シタリトノコトニテ甚タ遺憾ニ思ヒタル様ノ次第ナリ實ハ自分ハ當時ノ事情ニ照ラン博覽會參加ニハ初ヨリ余リ賛成セス殊ニ昨今ノ如キ形勢ニ成リ來リテハ日本ハ甚タ工合惡キ破目ニ陥リタ

ヘシト述ヘタルニ付大臣ハ何分宜敷御尽力ヲ希望スト述ベラレタリ

一二二 十一月二十日 坂田通商局長ヨリ
洪沢男爵外三名宛

「ガイ」博士ノ加州排日法案阻止運動内報並

「ダラー」氏訪日予定ノ件

附屬書 加州議會議員選舉ト排日運動

機密親展

洪沢男爵
中野武營
添田寿一博士
神谷忠雄
宛(連名)

ル次第ナリ仍テ實ハ自分ハ先日日本ノ博覽會參加見合ノ議ヲ閣僚ノ間ニ提出シタルカ主務大臣タル大浦子爵ハ諸般ノ準備既ニ大半成リ現ニ右參加ノ為ニ計上セラレタル予算モ過半使用シ出品ハ荷造リヲ了リ既ニ發送シタルモノモアル様ノ次第ニテ今更見合スコトハ到底出來難シトノコトニテ總理大臣モ大分長ク考慮シタル結果遂ニ參加ノ方針ヲ続クルコトニ決意シ自分モ右ノ成行上不得已參加見合ヲ固執セスシテ今日ニ至リタル様ノ次第ニテ實際吾人ノ dilemma ニ在ル狀況ハ御諒解アリタシト述ヘラレタルニ米國大使ハ右詳細ナル談話ヲ謝シ土地法案提出ノ意氣込果シテ如此ナラハ誠ニ遺憾千万ナルガ自分ノ考ニテハ該法案ハ結局通過セサル可キモ元來カク或種ノ外國人ノミヲ除外スルカ如キ法律ハ独リ米國ニ取リテ不得策ナルノミナラス自分ハ此種ノ法案ハ凡テ憲法違反ナリト考ヘ居リ若シ州會ヲ通過スルコトアルモ結局實際問題トシテ裁判所ニ出ヅルコトトナレハ憲法違反ト裁決セラルルコトト予想シ居レリ此辺ノコトハ色々考ヘ居ル次第モアルニ付御閑ノ時ニモ成ラハ一日緩々御話致度シ然シ兎ニ角カカル法案カ通過スル丈ニテモ面白カラサルコト故此上共右防止ニ付最善ノ努力ヲ吝マサル

桑港市ノ有力ナル実業家タル「ウイリアム、クロッカー」
(「クロッカー」国立銀行頭取タル富豪) 「ルーベン、ヘール」(「桑港博覽會」) 「フラン
 ク、アンダソン」(「バンク・オブ・カリフォルニア」頭取) 「ロバート、ダラー」(「ダ
 ー」) 諸氏ハ「ガイ」氏ノ斡旋ニ依リ「ジョルダン」博士
 ヲ併セテ集合ヲ開キ熱議ノ末左ノ決議ヲナシタル由ニ有之
 候

公然防止運動ヲ試ムル時ハ加州々民ノ反感ヲ挑発シ労働
 派ニ乗セララルル虞アルニ付運動ハ総テ内密ニ為スコト
 此方針ニ從ヒ代表者ヲ内密ニ大統領ニ送り博覽會開催中
 州会ニ於テ借地権剝奪案ヲ講スルカ如キハ時局柄米國中
 立ノ本義ニ累ヲ及ホス憂ナキニアラサルノミナラス若シ
 通過スルコトアラハ極メテ重大ナル結果ヲ齎スヘキ趣旨
 ヲ陳述シ大統領ニ於テ米國労働党首領「ゴンパーズ」等
 ニ對シ内諭又ハ適當ノ方法ヲ以テ尽力アル様請願スルコ
 ト

右決議ニ基キ代表者華盛頓ニ赴キ帰來「ガイ」氏ニ内報
 スルトコロニ抛レハ代表者ハ大統領ト会见ヲ為シタル上
 國務省参事官「ランシング」氏(國務長官兼旅行不在ノタメ) ニ對シ詳細
 ノ陳述ヲ為シ大統領宛陳情書ヲ提示シタルニ同参事官ハ

並ニ選舉運動中排日的立法反對ノ旨ヲ明示シタル議員候補
 者ニシテ當選シタルモノ絶無ナルコト等ニ関シテハ別紙印
 刷物ニ就キ御承知相成度候
 以上御内報旁申進候 敬具

註 別紙ノ内「米國太平洋岸三州議員党派別」ハ前掲(一一)

二文書附記二)ニ付省略セリ

(附屬書)

加州議會議員選舉ト排日運動

加州労働組合連合會ハ曩ニ州會議員選舉ニ先立チ各議員候
 補者ニ向ケ現行外國人土地法ヲ改正シ帰化權無キ外國人ニ
 ハ三ケ年ノ借地權ヲモ許与セサルコトトナサントスル提案
 ニ對スル賛否ヲ問ヒ候補者總數ノ約半数ハ其意向ヲ表示シ
 タルカ十一月三日投票ノ結果當選シタル議員ノ幾何ガ右提
 案ニ賛成ニシテ幾何ガ反對ナリシカヲ檢スルニ上院半数改
 選當選者二十名中五名ハ排日的提案ヲ賛成シタルモノニシ
 テ残余十五名ハ態度不鮮明若クハ回答セサリシモノニ屬シ
 曩ニ反對ヲ表示セル七名ノ候補者ハ悉ク落選ノ否運ニ會セ
 リ下院ニアリテハ當選者總數八十名中賛成者二十四名残余
 十五名ハ態度不鮮明若クハ回答ヲ避ケタルモノ等ニシテ是

労働党ハ現政府ニ負フ所多キニ付善ク政府ノ指揮ニ從フ
 ヘク且現政府ハ加州ニ於ケル現状維持ノ為メ最善ノ努力
 ヲ為スヘシト語リタル由ニ有之候

「ガイ」氏ト總領事館トノ關係ニ關シテハ前記諸氏ニ於テ
 何等知ルトコロアルベキ筈無之右報道ハ當時「ガイ」氏ガ
 沼野領事ニ内報シタルノミニ有之候処本月十三日ニ至リ右
 ノ一人「ダラー」氏ハ沼野領事ヲ來訪シ同領事ノ内聞ニ供
 センカ為メトテ前掲先日來ノ防止運動ニ關シ縷述スルトコ
 ロアリ右ハ新聞紙等外間ニ對シテハ之ヲ秘シ居ルモ若シ次
 期州会ニ於テ再ヒ排日的法案ヲ通過スルカ如キコトアラハ
 其結果必ス重大ナルモノアルヘキハ自分等重立チタルモノ
 ノ憂慮ニ堪ヘサル所ニシテ之カ為メ目下銳意排日對抗策ヲ
 講シツアル次第ハ特ニ諒トセラレタシト語リ縷々懇談ヲ
 遂ケ尙同氏ハ商用上十一月十四日出帆ノ「コレア」号ニテ
 東洋ニ赴クニ付日本ニ於テ浪沢男其他ノ有力者ト協議スル
 トコロアリタシトノ希望ヲモ開陳致シタル趣ニテ右ニ關シ
 今般沼野總領事代理ヨリ電報ノ次第有之候間予メ御承知置
 ノ上「ダラー」氏來着ノ節ハ可然御応接方致切望候
 次期加州議會ニ於ケル現任知事派政黨ノ勢力優越ナルコト

亦反對ノ意ヲ示セル十六名ノ候補者ハ當選スルコトヲ得ザ
 リキ惟フニ排日的改正案提出ニ反對ノ態度ヲ採リタル候補
 者ハ労働派ヨリ激烈ナル妨害ヲ受ケ其結果遂ニ落選ノ不幸
 ヲ見ルニ至リタルモノナルヘシ

一一三 十一月二十日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
 加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案明年同州議會ニ提出予測ニ對ス

ル在桑港邦人ノ態度意向ニ關シ回答ノ件

第三五四号

貴電第九三号ニ關シ御來示ノ事實ハ十一月十三日 New
 York World 及 Times カ河上等ノ所說ナリトシテ掲載シ
 タル記事ニ基キ紐育ヨリ發セラレタル電報ヲ指スモノニア
 ラスヤト存セラルル処在米本邦人カ明年州会ニ排日案ヲ予
 期セス又仮令提出セラルルモ防止手段ヲ執ラサル覺悟ナリ
 ト言フハ全然事實ニ反ス往電第三四〇号ノ通當選議員顔触
 ハ排日案ヲ賛成スルモノ少カラス就テハ在米本邦人ハ明年
 州会ニ必ス排日案ノ提出セラルヘキヲ予期スルハ勿論其或
 ハ遂ニ通過スルコトアルベキヲ懸念シ居リ從テ排日案防止
 ノ為メ彼等モ亦夫々手段ヲ講シツツアリ然レトモ昨年ノ經

驗ニ徴シ本國ノ新聞団体等ニ於テ徒ニ大騒キヲ演スルコトハ國交ノ破裂ナキコトヲ予期スル以上ハ却テ州會議員ヲシテ乘氣ナラシメ排日案ノ通過ヲ容易ナラシムル虞アルニ付互ニ戒メ居ル次第ナリ故ニ彼等ガ自家利益ノ為メ本國ノ注意ノ冷却ヲ希望スルヨリハ寧ロ本問題ニ対シ神經過敏ナラサル様別言セバ万一通過ノ場合モ其後ノ激昂ヲ低カラシメンカ為メ國民ノ心理ヲ馴サシコトヲ欲スル点ハ本省ノ御方針ニ一致ス彼等ハ只管ヲ無事ヲ装ヒ一時ヲ糊塗スルニアラスシテ前途頗ル多難ナルヲ覚悟シ万一通過ノ場合モ徒ニ感情の騷擾セス冷靜ニ実力ヲ養成シ以テ在米本邦人經濟上社会上ノ地位ヲ確保向上スル為メ機密第七九号拙信ノ如キ何等カ積極的手段ヲ執ルコトヲ望ムモノナリト思考セラル前記河上所說ナルモノニ関シテハ其後河上ヨリ前記新聞宛訂正旁可及の詳細ナル投書ヲ為ス筈在米大使ヘ転電セリ

一二四 十一月二十一日 加藤外務大臣ヨリ在米國珍田大使宛(電報)

加州排日法案防止ノ為「ルーズヴェルト」氏

ニ斡旋依頼方等ニ関スル件

加州排日法防止ニ付國務長官ニ於テ同州民主
黨員自肅ノ措置ヲ講ズル様同長官ニ懇談方訓
令ノ件

第三二五号

沼野領事ヨリ貴官宛電報第一七六号ニ関シ民主党ニシテ排日問題ヲ「アジテート」スルコトナクシバ同問題ノ氣勢ヲ高カラシメサル丈ケノ効果アルコトハ確實ト認メラルハニ付キ貴官ハ國務長官(場合ニヨレハ大統領ニモ謁見シ)ト十分ノ懇談ヲ遂ケラレ米國政府ヲシテ明年ノ加州議會ニ於テハ「サンフオード」ヲ始メ苟クモ民主黨員タルモノハ断シテ排日案ノ提起ヲナサス又決シテ之ニ賛成セサルコトヲ誓ハシムルコトニ極力御尽瘁アリタシ尚ホ本件ノ往復並ニ別電加州問題ニ関スル諸往復ハ何レモ適當ノ時期ニ於テ要領沼野領事ヘ通報セラレタシ

註 前掲一二〇文書

一二六 十一月二十二日 在桑港沼野總領事代理ヨリ加藤外務大臣宛(電報)

加州排日問題ニ対スル同州進歩党機關紙ノ論

調報告ノ件

二 米国加州議会議休会中ノ形勢及同議會ノ排日的立法ノ予防運動 一二六

第三二四号

貴電第四二六号ニ関シ「ヘンリー、ホワイ」利用ノ件異存無之ニ付可然御取計アリタシ尚ホ必要ナレハ「オラフリン」ヲモ帰國後臨機利用セラレタシ其他ニモ議會開会ノ頃トナリ自然適當ノ者見出サレナバ必要ニ応シ御見込ニテ可然利用アリタシ加州知事ニ対シテハ御意見通ニテ差当リ妨ナカルヘキモ「ブライアン」氏間接説得ノ効果モ或ハ多キヲ期シ難カルヘキヲ恐ル、ニ付必スシモ其結果ヲ待タズ適宜運動ヲ開始スル方利益ナラント思考セラル右御再考ノ上可然御取計アリタシ將又沼野領事ノ報告ニヨレハ下院ニ於テハ共和党最多數ヲ占メ其ノ勢力侮リ難キモノアルニ付此方面ニ対シテハ「ダフト」氏ノ「インフルエンス」ヲ籍ル、方可然ト思料セラル、処御同意ナレハ是亦仲介者トシテ利用スヘキ人物其他運動ノ方法等ニツキ御意見電報アリタシ次ニ州會議員ニシテ買収シ得ラルヘキ見込ノ者アラハ次第ニヨリテハ相當ノ出費ハ吝マサル覚悟ニツキ沼野領事ヘ内訓セラレ同領事ノ見込ト共ニ御意見電報アレ

一二五 十一月二十一日 加藤外務大臣ヨリ在米國珍田大使宛(電報)

第三二五号

加州進歩党領袖 Rowell 主宰機關紙 Fresno Republican Japanese Agitation ト題スル十九日社説大要

法案ノ提出ハ議員ノ最モ尊重スル權利ニシテ或排日案ノ如何ニ突飛ニシテ國交上有害ノモノトスレトモ敢テ之ヲ提出セントスル議員アラハ如何ナル權威モ之ヲ防止スルニ由ナク只各議員ノ自制ニ俟ツノ外ナシ然レトモ立法ニハ自由緩急アリ國交ニハ礼讓ヲ要ス極メテ緊急ノ必要ナクハ國際ノ礼讓ヲ無視スルハ不可ナリ方今日本人問題トシテ論セラルモノ僅ニ借地權削除ノ一項アルノミ最近ノ統計ニ拠レハ此問題ハ決シテ緊急ヲ要セス又明年ノ博覽會ハ戰爭ノ結果日本ノ參同ニ比較的重キヲ置キ重要ナル賓客トシテ日本ヲ礼遇スル必要アリ況ンヤ吾人ハ日本移民ニ対スル一定ノ方針ヲ變更スルニアラス只今日決定ヲ焦セルハ却テ此問題ノ大目的ノ遂行ヲ妨ケ吾人ニ不利益ナルヲ以テナリ故ニ明年州會ニ排日案提出ヲ防止スルハ不可能ナルモ少クトモ明年一年限其 precipitation ヲ迫ルハ多數議員ノ賛同ヲ得ザルベキ見込アリトナスモ誤リナカルベシ

一二七 十一月二十四日

在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案阻止ノ為「ルーズヴェルト」氏

ニ斡旋方ニ付「ヘンリ、ホワイ」ニ依頼其

他ニ關スル件

第四三六号

貴電第三二四号ニ關シ

(一)十一月二十二日 Henry White 面会ノ上明年桑博開会
中加州議會ニ於テ又々排日法案提出サルルニ於テハ日米ノ
国交ヲ阻害シ寒心ニ堪ヘサル次第ヲ述ベ今回「ジョンソ
ン」カ加州知事ニ再選サレタルニ付テハ從來日本国ニ友情
ヲ抱キ居ラルル所ノ「ルーズヴェルト」氏ノ勢力ヲ仮リテ
同知事ニ説カシムル様「ホワイ」ノ斡旋ヲ依頼シタルニ
同氏ハ本使ノ言フ所至極尤ナリト大ニ同意ヲ表シ「ルーズ
ヴェルト」氏ニ書面ヲ認ムルカ又ハ親シク面会シテ本使ノ
依頼ノ次第ヲ申入ルヘキ旨快諾シタリ

(二)加州知事説得方ニ付テハ曩ニ國務長官ニ懇々申入レ置キ
タル次第ニ付其結果ヲ見極メサル以前ニ更ニ他ノ方面ヨリ
之ヲ試ムルコトハ同知事ノ頗ル「センシチヴ」ナル政策

ルモノト見ルヘシ加之現知事ノ意向トシテ他ノ方面ヨリ得
タル報道キ Rowell ノ所論ト殆ント符合スルヲ以テ見レハ
現知事ハ明年ノ州会ニ於テ議員カ各自ノ立場ヨリ排日法案
ヲ提出シ或程度迄之ヲ論議スル事ヲ容認スルナランモ昨年
ノ如ク反對党ヨリ issue ヲ挑マレ現知事ノ政事家トシテノ
将来ノ立場ニ影響ヲ及ホスカ如キ事ナキ限り時局柄ニモア
リ排日法案ヲ通過スル事ニハ賛成セサル意向ト見ルヲ得ヘ
シ尤モ加州議員ノ立場トシテ排日問題ニ關シ日本ヲ恐ルル
モノト目セラルル事ハ彼等ノ好マサル所ナルヲ以テ日本側
ニ於テモ余リ威嚇的態度ヲ示ササル事得策ナルヘシト思考
ス要スルニ今日迄ノ形勢ヨリスレハ排日法案提出ハ之ヲ防
止シ難シトスルモ在米大使宛拙電第一七六号ノ通り民主党
ニシテ「アジテート」セサレハ其通過ヲ防止スル見込アリト
存ス尚「ガイ」氏前週以來南加州議員ヲ内密ニ遊説中ナリ
在米大使ヘ電報シタリ

一二九 十一月二十六日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案明年出現ニ対スル同州知事ノ意

二 米国加州議會休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動 一二九

ニ鑑ミルニ却テ面白カラサル結果ヲ招クヘシト思考ス尤進
歩党首領株タル Beveridge 及 Pinchot ノ内一人ニ機會ア
ラハ加州知事及進歩黨議員説得方依頼シタキ心組ナリ

(三)「タフト」氏ハ漂然独歩ノ態度ヲ執リ居ル今日ナルヲ以
テ同氏ニ依頼スルモ別段効力ナカルヘシト存スルモ Gulick
及 Scudder ハ加州問題ニ關シ同氏ト接觸ヲ保チ居ルニ付
右二氏ノ仲介ヲ以テ「タフト」氏ヲ説カシムル積ナリ
四州會議員買収ノ見込ニ關シ沼野在桑港總領事代理ノ意見
ヲ徴シタル所排日議員ヲ買収スルコトハ不可能ナルノミナ
ラス又差当リ買収シ得ヘキ見込ノモノナキ旨回電シ来レリ
本使ニ於テモ危險ナル議員買収ハ差控ヘタル方可然ト思考
ス

一二八 十一月二十五日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案明年提出ニ対スル同州知事ノ意

向並議會ノ形勢報告ノ件

第三五九号

拙電第三五五号ニ關シ Rowell ハ進歩党ノ領袖ニシテ現知
事ノ枢機ニ参与シ其發表スル意見ハ現知事ノ意向ヲ暗示ス

向続報ノ件

第三六一号

Associated Press 西部監督タル Copp ハ本官ト特別入魂
信頼スヘキ人物ニシテ且現知事ニ屢々接近スル機會ヲ有ス
ルモノナルヲ以テ過日特ニ午餐ヲ共ニシ總選舉ノ結果明年
ノ州会ニ排日問題再現ノ件ニ対スル本邦輿論ノ趨向及其危
險重大ナルコト等ヲ詳細ニ同氏ニ中含メ且右ハ米國識者ノ
深く憂慮スル次第ナル旨ヲ知事ニ披露シ其意嚮ヲ確ムル様
依頼シ置キタルニ同氏ハ十一月二十五日日本官ヲ訪問シ最近
「サクラメント」出張ノ際知事ト会谈シ排日問題ニ關スル
其意見ヲ叩キタル結果ヲ内話セリ其要領ハ知事ハ現今ノ形
勢ニ大變化ナクハ(政敵カ知事ニ issue ヲ挑ムカ如キ場合
ヲ指スモノト思考セラル)明年州会限リハ排日法案ノ提出
ヲ見タル場合ニモ之ヲ阻止ノ方針ナリト言フニ在リ尚同氏
ハ知事ハ近來國際間ノ問題ニ付大ニ留意スルニ至リ其政見
モ亦從來ニ比シ大ニ broaden セル旨附言シタリ惟フニ今
ヤ州内ニ於ケル知事ノ名声赫々タルモノアリ其威望好ク全
進歩黨員ヲ control スルニ足ルヲ以テ此形勢ノ儘ニテ推移
セハ明年ハ排日法案通過スルコトナカルヘシト存セラル尚

時局柄排日問題ヲ弄スルハ極メテ危険ナリトノ警告ヲ加州ノ新聞雜誌又ハ識者ヨリ發セシムルハ州外ノ容喙ト異リ極メテ有効ト認メラルルニ付十二月号「サンセット」ニハ前号ト同趣旨ノ社説ヲ掲ケシムル筈

在米大使へ電報シタリ

一三〇 十一月二十六日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日案防止ニ付國務長官ヨリ桑港博覽會

會長宛書翰送付並同州民主黨議員戒飾方要望

二 關シ同長官談話ノ件

第四四〇号

往電第四一九号ニ関シ十一月二十五日往訪ノ機会ヲ以テ博覽會々々長へノ書翰ニ付問質シタルニ國務長官ハ右ハ既ニ發送シタル所未タ回答ニ接セスト答ヘタリ尚貴電第三二五号御電訓ノ趣ニ遵ヒ沼野在桑港總領事代理ヨリ本使宛第一七六号電報中ニ掲ケタル事情等詳細説明シ國務長官ノ努力ヲ煩ハシタキ旨申入レタル所同官ハ各議員ハ其選挙区ノ事情ニヨリ行動スルモノナルニ付到底民主黨議員ヲ一拘束スルカ如キコトハ不可能ナレトモ彼等ニ対シ道義上ノ勢力

一三二 十一月三十日

在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ノ形勢ニ関スル同州政治家ノ觀

測報告ノ件

第三六二号

Guy 提出南「カリフォルニア」政況報告ニヨリ同氏ト會談シタル政客ノ意見ヲ綜合スルニ明年ノ州會ニ於テ排日法案提出後下院通過如何ハ主トシテ労働派領袖 Scharrenberg ノ意嚮ニ依リテ決スベシ然レドモ上院ハ知事派三分ノ二以上ヲ占メ知事ハ外部ノ圧迫等ナキ限明年排日法案ヲ問題ト為スヲ好マサルニ付形勢ニ變化ナクハ上院通過ノ虞ナシ桑港博覽會ハ加州政界ニ勢力ナキニ付本問題ニ付テハ余リニ恃ムニ足ラサルモ加州一般ノ人氣ハ之レ以上排日問題ヲ政争ノ具ニ供スルヲ欲セサルカ如ク要スルニ排日法案ノ運命ハ知事及 Scharrenberg 兩者ノ掌中ニ在リトナセリ尚 Scharrenberg ノ意向ハ探知次第追報

在米大使へ電報シタリ

一三三 十二月二日

在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

二 米国加州議會議休会中ノ形勢及同議會ノ排日的立法ノ予防運動

一三二 一三三

一五五

(moral influence) ヲ用ヒ希望ニ副フ様努ムヘシ而シテ自分(國務長官)ハ之ニテ目的ハ達シ得ラルヘシト信ス兎モ角直チニ Senator Phelan ニ書信ヲ發スヘキ旨答ヘタリ

沼野濟ミ

註1 前掲一二四文書

2 同 一二五文書

一三一 十一月三十日

加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

加州問題ニ関シ駐米英國大使ト連絡方指示ノ

件

第三三〇号

加州問題ニ関シテハ昨年来ノ行掛リモアル次第ニ付貴官ハ駐米英國大使ニ対シ本件ニ関スル昨今ノ形勢並ニ今後問題ノ經過ヲ告ケ先方ノ意見モ徴シ不絶同大使ト氣脈ヲ通セラレ必要ニ応シテハ同大使ヲ経テ当方ノ意志ヲ米國政府ニ通ジ時ニハ「スプリングライズ」氏ニ依テ米國當局ノ意向ヲ知ラルル等本問題ニ関シ直接間接同氏ノ応援ヲ得ラルル様致シタシ

加州排日法案防止ニ関シ博覽會會長ヨリ國務

長官宛返電及民主黨議員戒飾ニ関スル措置ニ

付同長官ヨリ内報ノ件

第四四六号

十二月二日請ニ依リ往訪シタルニ國務長官ハ桑港博覽會々々長 Moore ヨリ接手セル電報ノ要領ナリトテ左ノ通り本使ニ語レリ

(往電第四一九号参照)「我等運動ハ著々進行シ居レリ信憑スヘキ筋ヨリ得タル報道ニ依レハ明年加州議會ニ於テ貴長官ニ迷惑ヲ掛ケ又ハ他ノ何人ニモ侮辱ヲ感セシムルカ如キ立法ハ之レナカルヘシト信ス Judge Lindley モ大ニ尽力シ居レリ」尚長官ハ排日案カ加州議會ノ議ニ上リテ公然論議セラルルコトアリテハ其ノ影響不良ナルコト同案ノ通過ト選ブ所ナキヲ以テ初メヨリスカル措置ヲ差控ユヘキ様民主黨戒飾方ヲ Phelan ニ送リ置キタルカ若シ Phelan ノ右ノ運動外間ニ洩ルルコトアリテハ容易ナラサル義ニ付極内密ニ含置カレタキ旨ヲ特ニ申添ヘタリ

沼野濟

一三四 十二月四日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ付「ルーズヴェルト」氏
韓旋諒承並内務長官ノ尽力ニ関シ「ホワイ
ト」氏来談ノ件

第四四八号

往電第四三六号ニ関シ十二月三日 White 氏来訪十一月三十日附 Roosevelt 氏ノ返書ヲ本使ニ示シタルガ其ノ要領左ノ如シ

〔余ハ三週間前〕Johnson 氏宛貴下ノ申越タル如キ立法ヲ防止スヘキ様最モ強ク勸告スル所ノ書面ヲ發シタリ尤モ右勸告ノ理由ハ日本国大使ヨリ余ニ伝達方ヲ貴下ニ依頼シタル理由トハ異ナレリ余ハ早速加州知事ニ宛以前ヨリモ一層強ク重ネテ申送ルベキニ付此事ヲ日本国大使ニ伝ヘラレタシ〕又 White 氏ハ自身限り内密ニ氏ノ親交アル加州出身内務長官 Lane 氏ト会谈シ排日立法ノ危険ヲ説キタル所 Lane 氏至極同感ニテ同氏ハ先般加州ニ帰省ノ節同州政治家諸輩トモ会谈シ副知事ニモ面会シテ勸告ヲ与ヘ置キタルガ氏ノ信ズル所ニ於テハ排日立法ガ労働党ノ間ニ話頭ニ上ルヤモ

華府及日本ノ新聞紙等ニ現ハル諸種ノ報道ヲ見ルニ今冬更ラニ加州ニ於テ排日法案ニ対スル「アジテーション」ノ再現スベキ形勢アリトシ日米兩國政府共ニ大ニ懸念ヲ懷キ居レルコトヲ伝フ兩國政府ハ斯ノ如キコト無シト公ニ打消シ居ルモ此ノ打消タルヤ疑モナク本問題ノ成行如何ヲ知ラントスル一種ノ「サグリ」ニ過ギサルガ如シ

本件ニ関シテハ日本政府ニ対シ其ノ希望スルカ如キ保証ヲ与フルコト固ヨリ不可能ナリ蓋シ日本政府ノ希望スル所ハ其ノ博覽会参加者トシテ實際上加州ノ賓客タル時ニ方リ排日問題ニ対スル面倒ナル「アジテーション」ノ一切之レ起ラサルコトヲ期スルニ在ルヤ疑ヲ容レサルモ斯ノ如キ保証ハ明ニ不可能ナリトス、「アジテーション」ヲ為スコトハ米国民各個人ニ属スル動スベカラサル權利タリ法案ヲ提出スルノ權利ハ其法案ノ良否ヲ問ハズ各米國議員ノ有スル絶對的權利ニシテ又実ニ從來必ズ其ノ行使シ来リタル所ナリ故ニ若シ或ル州ノ州会ニ於テ排日法案ヲ提出シ又ハ其通過ヲ計ラントシ如何ナル言辭ヲ用キテ之ヲ提唱スルコトアリトスルモ全米国内ニ於テハ彼等ノ特權ヲ奪フベキ權威ナルモノ無シ議會ノ多数者ハ此種ノ法案ヲ否決スルコトヲ得可

計リ難キモ明年ノ加州議會ニ於テ斯ル立法ヲ為スコトハ万之レナカルベシト述ヘタル旨ヲ語レリ

一三五 十二月五日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛

加州排日問題ニ関スル同州進歩黨機關紙社説
訳報ノ件

附屬書 右社説訳文

公第三八六号(十二月二十五日接受)

大正三年十二月五日

在桑港

總領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

加州進歩黨ノ一機關紙「Fresno Republican」ノ排日問題ニ関スル社説大要ハ先月二十二日拙電第三五五号ヲ以テ申進置候処玆ニ右新聞切抜訳文相添ヘ及送付候条御査閱相成度候 敬具

註 右社説切抜省略

(附屬書)

排日問題

シ然レトモ之ヲ提出スルコトヲ禁ズル能ハズ

右ノ如ク排日法案ノ如キモノノ提出ヲ防止スルノ途ハ議員各自ノ自制ニ俟ツノ外他ノ途ナシト雖モ州議員各自ガ此ノ自制ヲ為サンコトヲ希望シ又更ラニ一步ヲ進メ仮令或一議員ガ「アジテーション」ヲ始メタリトスルモ他ノ多数ノ議員ガ之ニ贊同セザランコトヲ希望スルハ不当ニアラズ世ニハ國際法上ノ權義ト言フ嚴格ナル条理ノ外ニ國際礼讓ナルモノアリ国内法上及國際法上ノ見地ヨリ言ヘバ外國人土地所有禁止問題ハ加州議會若クハ加州民ノ法權内ニアリ吾人ニシテ此州法權ノ範圍内及外國人ノ條約上ノ權利ヲ侵害セサル範圍内ニ於テ行動スルコトハ何等不可ナルコトナシ然リト雖モ玆ニ國際礼讓ノ問題トシテ之ヲ考フルニ日本政府及日本人ガ吾人ノ賓客タル其時ニ方リ特別緊急ノ必要ナキ限り急遽問題ヲ惹起スルノ甚ダ不当ナルヲ知ラザルベカラズ現時日本人問題トシテハ唯前期州会ニ通過シタル外國人土地法中ノ借地条項削除問題ノ外別ニ何等「アジテーション」ス可キモノナシ、今加州統計官ノ發表セル統計ヲ見ルニ日本人借地權問題ハ今直チニ緊急ヲ要スルモノニ非ズ日本人ノ借地權ニハ制限アリ且ツ所有權又ハ永代借地權ニ變

更セラルルヲ得ズ而シテ現在其借地者ノ数亦敢テ驚クベキ程ノモノニアザルノミナラズ其ノ増加スルコトモナシ、故ニ吾人ハ礼讓及好誼ノ命スル所ニ從ヒ出来得ベクンバ勘クトモ博覽会期間此ノ問題ヲ論ズルコトヲ見合スルモ何等實際上ノ利益及權利ヲ損傷スルコトナシ

日本政府ハ非常ナル困難ト多大ノ危険ヲ冒シツツ本年加州ニ於ケル博覽会ニ参加スルノ舉ニ出テタリ日本ニ於テハ右ニ関スル反對論甚タ盛ナリキ若シ前山本内閣ニシテ他ノ問題ニ依リテ倒ルルコトナカリセバ必ズヤ此ノ問題ニ依リ倒レタル可シ、日本政府ハ一般人民ノ明白ナル意向ニ反對シ此ノ博覽会参加ノ舉ヲ敢テセリ思フニ日本政府ハ極メテ興味深キ方法ヲ以テ之ニ臨ムヘシ欧州ノ文明及産業ガ一時的中止ヲ來シタル今日ニ於テ博覽会ニ於ケル東洋の特色及其意義ハ尚一層重要ノ度ヲ加フルニ至レリ而シテ日本ハ博覽会ニ於ケル全東洋の特色ヲ飾ル唯一ノモノタルヤ勿論ナリ特ニ有力知名ナル数多ノ日本人ノ來会スベク其ノ依リテ得タル感想ハ自ラ日米兩國間ノ貿易關係ヲ益々發展セシムル上ニ大ニ資スル所アルベキヤ必セリ日本ハ正ニ其責任ヲ尽シツアリ吾人ハ之ニ對シ我國ニ於ケル日本移民及其永住

問題ニ関スル從來確定ノ政策ヲ枉グルヲ要セサルトモ之ヲ遂行スルニ付テ無用ノ攻撃態度ヲ避クル責任アリ我現行ノ法律ハ已ニ正当安全ニ此政策ヲ保護シ此政策ヲ執ルコトハ我州權内ニ存スルノ最モ重要ナル点ヲ先ツ明ニセリ此際強イテ之ヲ問題トスルハ直接ノ目的上何等實際ニ効果ヲ收ムルコト難カルベク而カモ却テ他ノ一層重大ナル問題ニ於テ不利益ニ陥ルノ重大ナル結果ヲ來スベシ
要之議員及請願人各自ノ個々ノ行動ヲ抑止スルカ如キ何等保証ヲ与フルコトハ不可能ニ屬スト雖モ亦吾人ハ少クトモ今年ハ本問題ノ解決ヲ急ガンストスル何等ノ提議アルモ各人互ニ相警メ以テ其ノ多数者ノ贊同ヲ得ルニ至ラザルベキ希望アリトナスヲ得ベキ乎

註 右十一月十九日附「フレスノ、レパブリカン」紙ノ「ジヤパニーズ、アジテーション」ト題スル社説ノ概訳ナリ

一三六 十二月七日 在米国外務大臣宛(電報)

加州知事ノ態度ニ関シ博覽会會長ヨリ國務長官ニ對シ為サレタル報告ニ付問合方ノ件

第三三七号

貴電第四四六号ニ関シ國務長官ガ間接ニ博覽会會長ヲシテ

「ジョンソン」ニ説カシメタル結果トシテ「ムーア」ヨリ「ジョンソン」ノ態度ニ付如何ナル報告アリシカ序ノ節可然「ブライアン」氏ニ御尋アリタシ

一三七 十二月九日 在米国外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ関シ「タフト」氏ノ勢力利用方並同法案ニ對スル加州知事ノ意向報告

ノ件

第四五一号

貴電第三二四号「タフト」氏勢力利用方ニ関シ十二月七日來華中ノGulick, Scudder 両氏ニ謀リタルニ何レモ同意ヲ表シ Scudder ハ近日「ニューヘブン」ニ「タフト」氏ヲ往訪スヘキコトヲ約セリ尚加州実業家「アレキサンダー」ハ同知事ニ面会ノ上質問シタルニ「ジョンソン」ハ明年加州議會ニ於テ排日立法ヲナサシムル意志ヲ有セサル旨ヲ答ヘタル由ニテ Scudder ハ「アレキサンダー」ノ友人ヨリ此事ヲ聞知シタリトテ頗ル樂觀シ居レリ

一三八 十二月九日 在米国外務大臣宛(電報)

加州労働派領袖ノ同州排日法案ニ對スル意向報告ノ件

附記

十二月十日沼野總領事代理宛加藤外務大臣宛
電報第三七二号
往電訂正ノ件

第三六七号

十二月八日 Guy 氏 Scharrenberg ト会见 Scharrenberg ハ Gompers ト往復シタル電報並ニ書柬ヲ悉ク Guy 氏ニ閱覽セシメ隔意ナク所信ヲ披瀝シタル趣ニテ Guy 氏ノ口頭趣旨要領左ノ如シ

先般 Gompers ハ大統領ト会见シ其ヲ奉シ Scharrenberg ニ電報ヲ寄セ明年加州ニ於テ排日問題ヲ agitate スルハ中央政府ヲ窮地ニ陥ラシムル虞アルニ付 new agitation ハ一切見合セ度旨依頼シ越シタルニ對シ Scharrenberg ハ此問題ハ決シテ new agitation ニアラス多年ノ宿題ニシテ一切ノ亜細亞人排斥法ノ制定ヲ見ル迄繼續スル決心ナリ (existence and life or labor federation depend upon agitation) ト返電シ又 Gompers ヨリ長文ノ來柬ニ對シ

Scharrenberg、Philadelphiaニ開催セラルル全米国労働者大会ニ出席ノ上親シク会談ヲ約シ而シテ Scharrenbergハ右会談ノ際 Gompersヲ説得シ遂ニ彼ハ convertスルヲ得セシメント語レリ

右ノ次第二付 Gompersノ努力モ Scharrenbergノ排日運動ヲ抑止スルコト能ハサルモノト認メラル尚 Scharrenbergハ明年排日法案ヲ提出セシムル計画ナルモ若シ議員多数反對ナラハ目下ノ処必スシモ明年ノ州会ニ通過ヲ迫ル意志ナキ旨語レル由ナリ尚又 Guy氏ハ近日知事ニ面談ノ答大使ニ電報ス

(附記)

十二月十日在桑港沼野總領事代理加藤外務大臣

宛電報

往電第三六七号訂正ノ件

第三七二号

拙電第三六七号末段(排日運動ヲ抑止スルコト能ハサルモノト)トアルハ clerical mistakeニ付(排日運動ヲ抑止スル効果ナカリシモノト)ト訂正相成タシ此ハ Guyハ Gompersニ於テ今後一層斷乎タル態度ヲ以テ Scharrenberg

ヲ説得スル様希望スル旨ヲ述ヘタリ
在米大使ヘ電報ス

一三九 十二月十日 在桑港沼野總領事代理
加藤外務大臣宛(電報)

明年提出予想ノ加州排日法案ニ関シ「ガイ」
博士同州知事ト会談ノ件

第三七三号

往電第三六七号ニ関シ「ガイ」ハ十二月九日「サクラメント」ニ知事ヲ往訪シタルニ最初知事ハ成ルヘク応答ヲ避クル態度ヲ示シタルガ「ガイ」ガ Labor people are going to have all what they want, ト云フニ及ビテ知事ハ稍語氣ヲ強メ自分ハ決シテ彼等ノ dictationニ従フモノニアラスト答ヘタル趣知事ハ素ヨリ「コムミット」スルヲ肯ンセサルモ態度語氣等ニ微シ寧ロ我ニ favorableト解シ得ヘシトノコトナリ約四十分会見中知事所言要領左ノ如シ

You will observe that I speak with reservation on this subject. I am compelled to do so. Last year some one came here, and interviewed me, and then went out, and gave it to newspapers, and that not correctly.

張ノ答ナルカ先日來各地出張ノ費用モアリ今後ノ分ト併セテ教化運動費ヨリ千弗限り同氏遊説ニ関スル費用ニ充テタシ至急許可ヲ請フ

一四一 十二月十日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ニ対スル同州知事ノ消極的態度
明確ナル旨國務長官談話ノ件

第四五六号

貴電第三三七号ニ関シ十二月十日接見日ニ於テ國務長官ヲ往訪シ尋ネタルニ Moore カ自ラ Johnson ニ面会ノ上突止タルヤ否ヤハ長官ニモ不明ナルモ同人ノ電報ニ拠ルニ確實ト認メタルモノト思ハル旨ヲ答ヘ又長官ハ他ノ方面ヨリ得タル報道ニ拠ルモ加州知事カ明年州会ニ於テ排日立法ヲ為サシムル意志ヲ有セサル事明カナリト述ヘタルモ何人ヨリノ報道ナルカラ語ル事ヲ避ケタリ

又往電第四五二号ニ関シ在桑港總領事代理ノ回電ニ依レハ実害ノ有無ハ早速ニハ調査出來難キモ若干ノ影響ヲ及ホスモノト認メラルルニ付其次第ヲ語リ長官ノ注意ヲ促シタル処長官ハ目下報告ヲ徴シ國務省法律顧問ヲシテ調査セシメ

So I have found that the best way to keep out of trouble is to say nothing. You cannot prevent bills being presented. That is impossible. Your greatest trouble will be with the newspapers. There are a lot of them that would rejoice at such agitation. I did not know labor people were planning for any new legislation. I am not pledged or bound to federation of labor or to any one else. They supported me in campaign as all did, and there was no trade or bargain of course. I feel thankful to them on this question. I have fixed and definite views which I cannot now express. I am sorry I cannot say anything further, but your visit has not been without profit to me. You have told me something new. I am very glad you came.

一四〇 十二月十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案防止ニ関スル「ガイ」博士ノ遊
説費教化運動費ヨリ支出方稟請ノ件

第三七四号

「ガイ」ハ十二月十二日各議員戸別遊説ノ為再南加州ヘ出

ツツアル旨ヲ答ヘ又英伊大使ニモ同様ノ返答ヲ為シタル旨ヲ述ヘタリ

一四二 十二月十一日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州ニ於テ明年排日立法行ハレザル旨ノ約言
ヲ得居ル趣ヲ國務長官英國大使ニ談話ノ件

第四五九号

往電第四五二号末段ニ関シ英國大使ハ十二月十日國務省参事官ニ面会ノ節明年加州議會ニ於テ三ヶ年借地權ヲ取上クル如キコトアリテハ日米國交上憂慮ニ堪ヘスト語リタル処参事官ハ長官ニモ此儀申入レラレタキ様希望シタルヲ以テ同日英國大使ハ長官ニモ申入レタルニ長官ハ明年加州議會ニ於テ排日立法ハ行ハレサル旨約言ヲ得居レリト答ヘタル由ニテ英國大使ハ右ノ次第ヲ同日夕本使ニ電話シ来レリ

一四三 十二月十二日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

桑港商業會議所会頭加州排日法案ニ関スル情

報内報ノ件

第三七五号

一四五 十二月十二日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案ニ「ルーズヴェルト」反對ノ件

第四六三号

十二月十一日「ハミルトン、ホルト」来訪其語ル所ニ依レハ同人ハ用向アリテ「ルーズヴェルト」ヲ往訪シタル節加州問題モ話頭ニ上リ「ルーズヴェルト」ハ「ジョンソン」宛排日案ニ反對ノ意味ヲ以テ二回発信シタル旨ヲ「ホルト」ニ語リ又 Dernburg モ「ルーズヴェルト」ヲ訪問シタルコトアリシカ「ルーズヴェルト」劈頭「デルンバーク」ニ向ヒ日米ヲ離間スルカ如キ運動ニハ左袒スル能ハスト断ハリタル所「デルンバーク」度ヲ失ヒタリト得意氣ニ其事ヲ語リタル趣ナリ

一四六 十二月十三日 加藤外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛(電報)

桑港商業會議所会頭情報在米国大使ヘ電報方

ノ件

第一〇四号

貴電第三七五号珍田大使ヘ電報アレ

一 米国加州議會休会中ノ形勢及同議會ノ排日の立法ノ予防運動

十二月十一日桑港商業會議所会頭 Michaels ハ態々本官ヲ訪問シ信用スヘキ筋ヨリノ報道ヲ本官限りノ内聞ニ供ストテ語ル所ニ依レハ(一)独逸國人ハ相応巨額ノ金ヲ当地排日のノ為費シ居リ「シャレンベルグ」モ独逸人種ノコトニモアリ此運動ニ關係シ居レリ(二)知事ハ来年州会ニ排日の借地禁止法提出ヲ阻止シ能ハサルモ其通過ニハ断然反對スル決意ナルコトヲ確メタリ(三)先般八時間労働制限「イニシアチーブ」法案ニ反對スル目的ヲ以テ組織セラレタル加州農民会ハ明年州会ニ於ケル排日運動ニ断然反對スルコトニ決定シタリ

一四四 十二月十二日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案阻止ニ付同州知事説得方ニ関スル件

第四六二号

往電第四三六号^(註)ニ関シ Pinchot ハ当地ニ来ラス Beveridge ハ歐洲ヘ旅行スルニ付同伴ヲ右兩人ニ依頼スル方法ナシ
註 前掲一二七文書

一四七 十二月十三日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日法案次期同州議會ニ提出予期セスト
ノ「ルーズヴェルト」氏来簡「ホワイト」氏

内報ノ件

第四六四号

往電第四四八号^(註)ニ関シ十二月十二日附ヲ以テ White ヨリ「ルーズヴェルト」氏来簡ノ抜萃トシテ左ノ通り内報シ越セリ

I (Mr. Theodore Roosevelt) have just heard from Johnson. He tells me that he does not look for any difficulties about the Japanese situation during the coming session of legislature and does not anticipate that there will be any demand for further legislation upon alien land subject.

註 前掲一二四文書

一四八 十二月十六日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州知事トノ会谈ニ於テ同州議會ノ大勢我ニ有利ナルヲ観測ノ件

一四五 一四六 一四七 一四八

第三八一号

十二月十四日山脇事務官長ヲ帶同シ「サクラメント」ニ知事ヲ訪問シタルニ知事ハ二十分間極メテ殷勤ニ応接シ博覧会ニ関スル事務官長ノ言ヲ傾聴シ又本官ガ知事ノ大多数ヲ以テ再選シタルコトヲ祝シタルニ対シ謝意ヲ述ヘ自ラ進ンテ州会ニ於ケル形勢ヲ説明シ曰ク下院ハ何レノ党派モ過半数ヲ占ムルニ至ラス自分ハ明春ノ州会ニ於テ state politics ノ関スル限 party line ヲ撤廃シ non-partisan タルニ努力スル考ナリ又上院ハ全然進歩党ノ掌握ニ歸シ居リ成ルヘク新ナル立法ヲ避ケタク客年ノ州会程長引カサル様致シタシ然レトモ米國議員ノ法案提出權ハ何人モ拘束シ難ク突飛ナル法案提出セラルルコトナキヲ保セサルモ州会ノ大勢ハ前陳ノ通ナリ又 Mischievous newspaper ヲ警戒スルコト緊要ナリ云々

一四九 十二月十八日 加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛

次期加州議會議形勢予想ニ関スル米國大使來談
要領送付ノ件
附屬書 右米國大使來談要領
通機密送第七七号
來期加州議會議形勢予想ニ関スル在本邦米國大使來談要領御參考迄ニ別紙ヲ以テ差進候御査閱相成度候也
(附屬書)
十二月十日米國大使來省會談ノ要領
大正三年十二月十日米國大使來省國務長官ヨリ加州議會議諸領袖ノ保証ニ基キ自分ハ來期議會議ニ於テ排日の法案ノ成立スルコトナカルベシト思料ス (disposed to think) トノ來電ニ接セリ自分モ米國ノ諸新聞ニ顯ハルル所其他ヲ綜合シテ右ノ如キ結果トナランコトヲ予テ期待シ居タル次第ナルガ「ブライアン」氏ハ政治上ノ事情等ニハ常ニ余程正確ナル觀察ヲ持シ居ル人ニシテ其人ヨリ斯ノ如キ報道ニ接スルハ自分ノ頗ル喜フ所ナリト述ヘタルニ付本大臣ハ右ノ通報ヲ謝シ果シテ右ノ如シトセハ誠ニ喜ハシキコトナリト答ヘタリ

一五〇 十二月十八日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

加州排日立法防止ニ関シ「タフト」氏加州議員說得ニ尽力スベキ旨約言ノ件

第四七一号

往電第四五一号ニ関シ Scudder カ Newhaven ニ立寄リタル節ハ「タフト」氏不在ナリシモ Gulick ハ同氏ニ会見ヲ遂ケ明年加州議會議ニ於テ排日立法ヲ支持セサル様加州議員等ヲ說得スルコトニ尽力スヘキ旨ノ約言ヲ得タル趣ナリ